

平成22年国勢調査

第3次試験調査結果の概要

目次

I 調査の概要	1
II 調査票の集計結果	4
III 記録表の取りまとめ結果	31

※ 「記録表の取りまとめ結果」は、調査員記録表、指導員記録表及び調査状況等記録表に基づいたものであり、「調査票の集計結果」と一致しない場合がある。

平成21年10月

国勢統計課

I 調査の概要

1 調査の目的

平成 22 年国勢調査第 3 次試験調査はフルドレスリハーサルとして、これまでの検討状況及び第 1 次、第 2 次試験調査の結果を踏まえた調査方法、調査事務及び調査票の設計等について、最終的な実地の検討を行うとともに、地方公共団体における調査の実施事務の準備に資するために実施

2 調査の地域

(1) 市区

都道府県庁所在市及び都道府県庁所在市以外の政令指定都市（東京都特別区 1 区を含む。）の 51 市区

(2) 調査区

上記市区の区域に属する平成17年国勢調査調査区の中から、地域特性を考慮して選定した510調査区

3 調査の期日及び日程

(1) 調査の期日

平成21年6月12日（金）午前零時現在

(2) 調査の日程

調査地域の確認及び

『調査についてのお知らせ』の配布（調査員） 6月1日（月）～ 6月3日（水）

調査票の配布（調査員） 6月4日（木）～ 6月11日（木）

調査期日 6月12日（金）

【回収期間短縮型】※政令指定都市（東京都特別区 1 区を含む）

調査票の当初回収（調査員） 6月12日（金）～ 6月18日（木）

世帯からの調査票の提出期限（世帯） 6月18日（木）

『調査票の提出はお済みですか』（確認状）

の配布（調査員） 6月19日（金）～ 6月20日（土）

【回収期間従来型】※上記を除く都道府県庁所在市

調査票の当初回収（調査員） 6月12日（金）～ 6月22日（月）

郵送提出の期限（世帯） 6月18日（木）

調査員提出の期限（世帯） 6月22日（月）

『調査票の提出はお済みですか』（確認状）

の配布（調査員） 6月19日（金）～ 6月22日（月）

郵送提出世帯の封筒の整理（市区） 6月8日（月）～ 6月23日（火）

郵送提出世帯等情報リストへの転記（市区） 6月22日（月）～ 6月24日（水）

郵送提出世帯等の調査員への伝達

及びフォローアップ回収の指示（市区） 6月24日（水）～ 6月26日（金）

『世帯名簿』上の調査票未提出世帯の

特定（調査員） 6月24日（水）～ 6月26日（金）

調査票未提出世帯の特定の支援（指導員）	6月24日（水）～6月26日（金）
調査票未提出世帯からの調査票の回収 及び聞き取り調査（調査員）	6月26日（金）～6月28日（日）
世帯からの調査票の最終提出期限（世帯）	6月28日（日）
調査書類の市区への提出（調査員）	6月29日（月）～6月30日（火）
郵送提出調査票の受付及び調査区番号・ 世帯番号順の並べ替え（市区）	6月24日（水）～6月30日（火）
調査書類の指導員への交付（市区）	7月1日（水）
調査票の「世帯員の数」の『世帯名簿』への 転記（指導員）	7月2日（木）
調査票の検査及び抽出対象調査票の 抽出（指導員）	7月3日（金）～7月6日（月）
調査書類の市区への提出（指導員）	7月7日（火）
調査書類審査会（都道府県・市区・指導員）	6月下旬～7月上旬
行政情報等による欠損値等の補記（市区）	7月上旬
市区町村要計表及び政令指定都市要計表 の作成及び審査（市区）	7月上旬
都道府県要計表の作成及び審査（都道府県）	7月上旬

※ 政令指定都市（東京都特別区1区を含む。）は、6月12日（金）～6月18日（木）を調査票の当初回収期間（以下「回収期間短縮型」という。）とし、政令指定都市以外の都道府県庁所在市は、6月12日（金）～6月22日（月）を調査票の当初回収期間（以下「回収期間従来型」という。）とする。

4 調査の対象

調査の対象は、調査の期日において、調査の地域内に常住する者
ただし、外国政府の外交使節団又は領事機関の構成員及び外国軍隊の軍人・軍属
並びにこれらの家族を除く

5 調査事項及び調査票

OCR（光学式文字読取）調査票を用いて、次の事項を調査

ア 世帯員に関する事項（15項目）

- | | |
|-------------------|-----------------------|
| (ア) 氏名 | (ケ) 在学、卒業等教育の状況 |
| (イ) 男女の別 | (コ) 就業状態 |
| (ウ) 出生の年月 | (ク) 所属の事業所の名称及び事業内容 |
| (エ) 世帯主との続柄 | (シ) 本人の仕事の内容 |
| (オ) 配偶の関係 | (ス) 従業上の地位 |
| (カ) 国籍 | (セ) 従業地又は通学地 |
| (キ) 現在の住居における居住期間 | (ソ) 従業地又は通学地までの利用交通手段 |
| (ク) 5年前の住居の所在地 | |

イ 世帯に関する事項（5項目）

- | | |
|-----------|---------------|
| (ア) 世帯の種類 | (エ) 住宅の建て方 |
| (イ) 世帯員の数 | (オ) 住宅の床面積の合計 |
| (ウ) 住居の種類 | |

6 調査の方法

(1) 調査の流れ

調査は、総務省統計局—都道府県—市区—指導員—調査員—世帯の流れにより実施

(2) 調査の方法

ア 調査員は、所定の調査票配布期間に世帯と面接し、記入依頼を行った上で調査票を配布する。

なお、世帯が不在等で面接できない場合は、日・時間を変えるなどして少なくとも3回以上訪問することとし、さらに訪問を繰り返しても直接配布が困難と想定される場合には、調査票を郵便受けに入れるなどして配布する。

イ 調査票の提出は、①調査員への提出、②郵送提出、③オンラインによる回答（総務省統計局が指定する市区のみ）によることとする。

ウ 調査票の当初回収期間は、「回収期間従来型」は6月12日（金）～6月22日（月）、「回収期間短縮型」は6月12日（金）～6月18日（木）とする。

エ 回収期間従来型の調査員は、6月12日（金）～6月22日（月）までの期間にすべての世帯を訪問し、郵送提出を希望する世帯以外の世帯から調査票を回収する。6月19日（金）～6月22日（月）までの期間に調査員が調査票を回収した世帯以外の世帯に対して、『調査票の提出はお済みですか』（確認状）を郵便受けに入れるなどして配布する。

また、回収期間短縮型の調査員は、6月12日（金）～6月18日（木）までの期間にすべての世帯を訪問し、郵送提出（又はオンラインによる回答）を希望する世帯以外の世帯から調査票を回収する。6月19日（金）～6月20日（土）までの期間に調査員が調査票を回収した世帯以外の世帯に対して、『調査票の提出はお済みですか』（確認状）を郵便受けに入れるなどして配布する。

オ 調査票の当初回収期間内に調査票が提出されていない世帯（調査票未提出世帯）があった場合、調査員は、市区又は指導員からの指示に基づき、次の方法により、当該世帯からの調査票の回収（フォローアップ回収）を行う。

(ア) 調査票未提出世帯を訪問し、面接の上、調査票を直接回収する。

(イ) 調査票未提出世帯が不在等の場合は、再三訪問して世帯との面接に努める。

なお、世帯と面接できないなど、最終的に調査票の提出を直接依頼できない場合には、『調査票提出のお願い』（督促状）及び調査票等を当該世帯の郵便受けに入れるなどして配布する。

(3) 報告の方法

報告は、世帯主（世帯の代表者を含む。）又は世帯員が調査票に記入し、調査員の質問に答え、調査票を提出することにより行うものとする。

7 その他

この試験調査は、国勢調査令第15条第1項第6号及び第2項第8号に規定する「調査方法についての基礎調査」として実施する。

なお、調査の実施については、統計法に基づく一般統計調査としての承認を得ている。

Ⅱ 調査票の集計結果

第 1 調査票の回収状況

1 全体の状況

51 市区全体で、調査票を回収した世帯数は 18,682 世帯（83.4%）、調査票を回収していない世帯数は 3,724 世帯（16.6%）となっている。

調査票を回収した世帯について、回収方法別にみると、郵送回収が 12,335 世帯（66.0%）と最も多く、調査員回収は 5,654 世帯（30.3%）となっている。また、オンライン回収は 473 世帯で、オンライン回収を実施した政令指定都市（東京都特別区を含む。以下同じ）における世帯の割合は 6.7%となっている。

次に、調査票を回収した世帯について、回収時期別にみると、当初の回収期間に調査票を回収した世帯数は 17,074 世帯（91.4%）、調査票未提出世帯からの調査票回収（以下「フォローアップ回収」という。）期間に調査票を回収した世帯数は 1,468 世帯（7.9%）となっている。

当初の回収期間に調査票を回収した世帯について、回収方法別にみると、郵送回収の割合が 65.6%と高くなっている。フォローアップ回収期間については、調査員回収を原則としたが、郵送回収の割合が 77.5%と高くなっている。

また、政令指定都市と政令指定都市以外の県庁所在市を比較してみると、調査票を回収した世帯の割合に大きな差異はなかった。

回収方法別にみると、郵送回収の割合は政令指定都市のほうが高く、調査員回収の割合は政令指定都市以外の県庁所在市のほうが高くなっている。

調査票回収方法別世帯数

	総数	総数					当初回収					フォローアップ回収				聞き取り
		総数 (注)	郵送 回収	オン ライン 回収	調査員 回収	持参 回収	総数	郵送 回収	オン ライン 回収	調査員 回収	持参 回収	総数	郵送 回収	調査員 回収	持参 回収	
総数	22,406	18,682	12,335	473	5,654	80	17,074	11,197	473	5,335	69	1,468	1,138	319	11	3,724
構成比 1 (%)	100.0	83.4	55.1	(2.1)	25.2	0.4	76.2	50.0	(2.1)	23.8	0.3	6.6	5.1	1.4	0.0	16.6
構成比 2 (%)	-	100.0	66.0	(2.5)	30.3	0.4	91.4	59.9	(2.5)	28.6	0.4	7.9	6.1	1.7	0.1	-
構成比 3 (%)	-	100.0	66.0	(2.5)	30.3	0.4	100.0	65.6	(2.8)	31.2	0.4	100.0	77.5	21.7	0.7	-
政令指定都市(東京都特別区を含む)	8,663	7,100	4,974	473	1,530	29	6,396	4,460	473	1,441	22	610	514	89	7	1,563
構成比 1 (%)	100.0	82.0	57.4	5.5	17.7	0.3	73.8	51.5	5.5	16.6	0.3	7.0	5.9	1.0	0.1	18.0
構成比 2 (%)	-	100.0	70.1	6.7	21.5	0.4	90.1	62.8	6.7	20.3	0.3	8.6	7.2	1.3	0.1	-
構成比 3 (%)	-	100.0	70.1	6.7	21.5	0.4	100.0	69.7	7.4	22.5	0.3	100.0	84.3	14.6	1.1	-
政令指定都市以外の県庁所在市	13,743	11,582	7,361	-	4,124	51	10,678	6,737	-	3,894	47	858	624	230	4	2,161
構成比 1 (%)	100.0	84.3	53.6	-	30.0	0.4	77.7	49.0	-	28.3	0.3	6.2	4.5	1.7	0.0	15.7
構成比 2 (%)	-	100.0	63.6	-	35.6	0.4	92.2	58.2	-	33.6	0.4	7.4	5.4	2.0	0.0	-
構成比 3 (%)	-	100.0	63.6	-	35.6	0.4	100.0	63.1	-	36.5	0.4	100.0	72.7	26.8	0.5	-

(注) 回収時期及び回収方法の不詳を含む

【参考】平成22年国勢調査第1、2次試験調査の調査票の回収状況

調査票回収方法別世帯数

	総数	総数					当初回収					フォローアップ回収				開き取り
		総数 (注)	郵送 回収	オン ライン 回収	調査員 回収	持参 回収	総数	郵送 回収	オン ライン 回収	調査員 回収	持参 回収	総数	郵送 回収	調査員 回収	持参 回収	
第2次試験調査（総数）	13,816	11,054	7,226	328	3,342	114	9,747	6,610	328	2,712	97	1,263	616	630	17	2,762
構成比1（%）	100.0	80.0	52.3	2.4	24.2	0.8	70.5	47.8	2.4	19.6	0.7	9.1	4.5	4.6	0.1	20.0
構成比2（%）	-	100.0	65.4	3.0	30.2	1.0	88.2	59.8	3.0	24.5	0.9	11.4	5.6	5.7	0.2	-
構成比3（%）	-	100.0	65.4	3.0	30.2	1.0	100.0	67.8	3.4	27.8	1.0	100.0	48.8	49.9	1.3	-
第1次試験調査（総数）	23,748	18,392	16,588	-	1,369	404	15,100	14,530	-	221	349	3,261	2,058	1,148	55	5,356
構成比1（%）	100.0	77.4	69.9	-	5.8	1.7	63.6	61.2	-	0.9	1.5	13.7	8.7	4.8	0.2	22.6
構成比2（%）	-	100.0	90.2	-	7.4	2.2	82.1	79.0	-	1.2	1.9	17.7	11.2	6.2	0.3	-
構成比3（%）	-	100.0	90.2	-	7.4	2.2	100.0	96.2	-	1.5	2.3	100.0	63.1	35.2	1.7	-

(注) 回収時期及び回収方法の不詳を含む

2 地域特性別の状況

地域特性別にみると、調査票を回収した世帯の割合は、一戸建の多い地域(94.8%)で高くなっている一方、ワンルームマンションなど単身者が居住する住宅の多い地域(67.5%)で低くなっている。

また、オンライン回収を実施した政令指定都市における地域特性別のオンライン回収の世帯の割合は、その他の共同住宅(7.4%)、オートロックマンション1棟でいくつかの調査区を構成している地域(6.7%)で高くなっている。

地域特性、調査票回収方法別世帯数

	総数	総数					当初回収					フォローアップ回収					聞き取り	
		総数(注)	郵送回収	オンライン回収	調査員回収	持参回収	総数	郵送回収	オンライン回収	調査員回収	持参回収	総数	郵送回収	調査員回収	持参回収			
実数																		
総数	22,406	18,682	12,335	473	5,654	80	17,074	11,197	473	5,335	69	1,468	1,138	319	11	3,724		
一戸建の多い地域	7,689	7,289	4,162	103	2,974	27	6,945	3,938	103	2,880	24	321	224	94	3	400		
オートロックマンション1棟でいくつかの調査区を構成している地域	4,907	4,310	3,492	128	636	29	3,934	3,210	128	572	24	351	282	64	5	597		
ワンルームマンションなど単身者が居住する住宅の多い地域	4,830	3,261	2,010	107	1,087	12	2,813	1,699	107	997	10	403	311	90	2	1,569		
学校の学生寮・寄宿舎または社会施設がある地域	260	230	116	4	94	0	204	107	4	93	0	10	9	1	0	30		
その他の共同住宅の地域	4,713	3,588	2,553	131	862	12	3,176	2,242	131	792	11	382	311	70	1	1,125		
構成比(%)																		
総数	100.0	83.4	55.1	(2.1)	25.2	0.4	76.2	50.0	(2.1)	23.8	0.3	6.6	5.1	1.4	0.0	16.6		
一戸建の多い地域	100.0	94.8	54.1	(1.3)	38.7	0.4	90.3	51.2	(1.3)	37.5	0.3	4.2	2.9	1.2	0.0	5.2		
オートロックマンション1棟でいくつかの調査区を構成している地域	100.0	87.8	71.2	(2.6)	13.0	0.6	80.2	65.4	(2.6)	11.7	0.5	7.2	5.7	1.3	0.1	12.2		
ワンルームマンションなど単身者が居住する住宅の多い地域	100.0	67.5	41.6	(2.2)	22.5	0.2	58.2	35.2	(2.2)	20.6	0.2	8.3	6.4	1.9	0.0	32.5		
学校の学生寮・寄宿舎または社会施設がある地域	100.0	88.5	44.6	(1.5)	36.2	0.0	78.5	41.2	(1.5)	35.8	0.0	3.8	3.5	0.4	0.0	11.5		
その他の共同住宅の地域	100.0	76.1	54.2	(2.8)	18.3	0.3	67.4	47.6	(2.8)	16.8	0.2	8.1	6.6	1.5	0.0	23.9		
実数																		
政令指定都市(東京都特別区を含む)	8,663	7,100	4,974	473	1,530	29	6,396	4,460	473	1,441	22	610	514	89	7	1,563		
一戸建の多い地域	2,821	2,676	1,736	103	825	4	2,536	1,640	103	790	3	132	96	35	1	145		
オートロックマンション1棟でいくつかの調査区を構成している地域	1,918	1,732	1,390	128	177	21	1,581	1,277	128	160	16	135	113	17	5	186		
ワンルームマンションなど単身者が居住する住宅の多い地域	2,010	1,319	879	107	289	1	1,112	733	107	271	1	164	146	18	0	691		
学校の学生寮・寄宿舎または社会施設がある地域	132	117	70	4	36	0	105	65	4	36	0	5	5	0	0	15		
その他の共同住宅の地域	1,778	1,255	899	131	203	3	1,062	745	131	184	2	174	154	19	1	523		
構成比(%)																		
総数	100.0	82.0	57.4	5.5	17.7	0.3	73.8	51.5	5.5	16.6	0.3	7.0	5.9	1.0	0.1	18.0		
一戸建の多い地域	100.0	94.9	61.5	3.7	29.2	0.1	89.9	58.1	3.7	28.0	0.1	4.7	3.4	1.2	0.0	5.1		
オートロックマンション1棟でいくつかの調査区を構成している地域	100.0	90.3	72.5	6.7	9.2	1.1	82.4	66.6	6.7	8.3	0.8	7.0	5.9	0.9	0.3	9.7		
ワンルームマンションなど単身者が居住する住宅の多い地域	100.0	65.6	43.7	5.3	14.4	0.0	55.3	36.5	5.3	13.5	0.0	8.2	7.3	0.9	0.0	34.4		
学校の学生寮・寄宿舎または社会施設がある地域	100.0	88.6	53.0	3.0	27.3	0.0	79.5	49.2	3.0	27.3	0.0	3.8	3.8	0.0	0.0	11.4		
その他の共同住宅の地域	100.0	70.6	50.6	7.4	11.4	0.2	59.7	41.9	7.4	10.3	0.1	9.8	8.7	1.1	0.1	29.4		
実数																		
政令指定都市以外の県庁所在地	13,743	11,582	7,361	-	4,124	51	10,678	6,737	-	3,894	47	858	624	230	4	2,161		
一戸建の多い地域	4,868	4,613	2,426	-	2,149	23	4,409	2,298	-	2,090	21	189	128	59	2	255		
オートロックマンション1棟でいくつかの調査区を構成している地域	2,989	2,578	2,102	-	459	8	2,353	1,933	-	412	8	216	169	47	0	411		
ワンルームマンションなど単身者が居住する住宅の多い地域	2,820	1,942	1,131	-	798	11	1,701	966	-	726	9	239	165	72	2	878		
学校の学生寮・寄宿舎または社会施設がある地域	128	113	46	-	58	0	99	42	-	57	0	5	4	1	0	15		
その他の共同住宅の地域	2,935	2,333	1,654	-	659	9	2,114	1,497	-	608	9	208	157	51	0	602		
構成比(%)																		
総数	100.0	84.3	53.6	-	30.0	0.4	77.7	49.0	-	28.3	0.3	6.2	4.5	1.7	0.0	15.7		
一戸建の多い地域	100.0	94.8	49.8	-	44.1	0.5	90.6	47.2	-	42.9	0.4	3.9	2.6	1.2	0.0	5.2		
オートロックマンション1棟でいくつかの調査区を構成している地域	100.0	86.2	70.3	-	15.4	0.3	78.7	64.7	-	13.8	0.3	7.2	5.7	1.6	0.0	13.8		
ワンルームマンションなど単身者が居住する住宅の多い地域	100.0	68.9	40.1	-	28.3	0.4	60.3	34.3	-	25.7	0.3	8.5	5.9	2.6	0.1	31.1		
学校の学生寮・寄宿舎または社会施設がある地域	100.0	88.3	35.9	-	45.3	0.0	77.3	32.8	-	44.5	0.0	3.9	3.1	0.8	0.0	11.7		
その他の共同住宅の地域	100.0	79.5	56.4	-	22.5	0.3	72.0	51.0	-	20.7	0.3	7.1	5.3	1.7	0.0	20.5		

(注) 回収時期及び回収方法の不詳を含む

※ 調査区番号が不詳の調査票については、地域特性を特定できないため、集計対象から除いている

なお、学校の学生寮・寄宿舎の世帯及び社会施設の世帯については、原則として、調査員回収を基本としており、当初回収期間にほぼすべての調査票を調査員回収により回収している。

学校の学生寮・寄宿舎の世帯、社会施設の世帯における調査票回収方法別世帯員数

	総数	総数					当初回収					フォローアップ回収				開き取り	
		総数(注)	郵送回収	オンライン回収	調査員回収	持参回収	総数	郵送回収	オンライン回収	調査員回収	持参回収	総数	郵送回収	調査員回収	持参回収		
実数																	
学校の学生寮・寄宿舎の世帯	2,544	2,494	71	1	2,421	0	2,449	60	1	2,388	0	44	11	33	0	50	
社会施設の世帯	184	168	0	0	168	0	168	0	0	168	0	0	0	0	0	16	
構成比(%)																	
学校の学生寮・寄宿舎の世帯	100.0	98.0	2.8	(0.0)	95.2	0.0	96.3	2.4	(0.0)	93.9	0.0	1.7	0.4	1.3	0.0	2.0	
社会施設の世帯	100.0	91.3	0.0	(0.0)	91.3	0.0	91.3	0.0	(0.0)	91.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.7	

(注) 回収時期及び回収方法の不詳を含む

【参考】平成22年国勢調査第1、2次試験調査の調査票の回収状況

地域特性、調査票回収方法別世帯数

	総数	総数					当初回収					フォローアップ回収				開き取り	
		総数(注)	郵送回収	オンライン回収	調査員回収	持参回収	総数	郵送回収	オンライン回収	調査員回収	持参回収	総数	郵送回収	調査員回収	持参回収		
第2次試験調査																	
実数	一戸建の多い地域	4,808	4,508	2,896	76	1,473	41	4,161	2,777	76	1,274	34	325	119	199	7	300
	オートロックマンション1棟でいくつかの調査区を構成している地域	1,995	1,627	1,180	106	324	16	1,408	1,038	106	250	14	218	142	74	2	368
	ワンルームマンションなど単身者が居住する住宅の多い地域	1,903	1,019	658	50	304	6	780	551	50	175	4	238	107	129	2	884
	学生寮のある地域	4	4	0	0	4	0	4	0	0	4	0	0	0	0	0	0
	共同住宅の多い地域	5,098	3,888	2,486	94	1,237	51	3,386	2,238	94	1,009	45	482	248	228	6	1,210
構成比(%)	一戸建の多い地域	100.0	93.8	60.2	1.6	30.6	0.9	86.5	57.8	1.6	26.5	0.7	6.8	2.5	4.1	0.1	6.2
	オートロックマンション1棟でいくつかの調査区を構成している地域	100.0	81.6	59.1	5.3	16.2	0.8	70.6	52.0	5.3	12.5	0.7	10.9	7.1	3.7	0.1	18.4
	ワンルームマンションなど単身者が居住する住宅の多い地域	100.0	53.5	34.6	2.6	16.0	0.3	41.0	29.0	2.6	9.2	0.2	12.5	5.6	6.8	0.1	46.5
	学生寮のある地域	100.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	共同住宅の多い地域	100.0	76.3	48.8	1.8	24.3	1.0	66.4	43.9	1.8	19.8	0.9	9.5	4.9	4.5	0.1	23.7
第1次試験調査																	
実数	一戸建の多い地域	6,643	6,017	5,404	-1	457	156	5,088	4,859	-	89	140	929	545	368	16	621
	オートロックマンション1棟でいくつかの調査区を構成している地域	4,787	3,784	3,587	-1	165	32	3,214	3,170	-	16	28	570	417	149	4	992
	ワンルームマンションなど単身者が居住する住宅の多い地域	2,915	1,552	1,463	-1	70	19	1,258	1,229	-	12	17	294	234	58	2	1,359
	共同住宅の多い地域	6,854	5,097	4,415	-1	504	178	3,989	3,801	-	41	147	1,108	614	463	31	1,754
	外国人の多い世帯	2,549	1,908	1,716	-1	173	19	1,551	1,471	-	63	17	357	245	110	2	633
構成比(%)	一戸建の多い地域	100.0	90.6	81.3	-1	6.9	2.3	76.6	73.1	-	1.3	2.1	14.0	8.2	5.5	0.2	9.3
	オートロックマンション1棟でいくつかの調査区を構成している地域	100.0	79.0	74.9	-1	3.4	0.7	67.1	66.2	-	0.3	0.6	11.9	8.7	3.1	0.1	20.7
	ワンルームマンションなど単身者が居住する住宅の多い地域	100.0	53.2	50.2	-1	2.4	0.7	43.2	42.2	-	0.4	0.6	10.1	8.0	2.0	0.1	46.6
	共同住宅の多い地域	100.0	74.4	64.4	-1	7.4	2.6	58.2	55.5	-	0.6	2.1	16.2	9.0	6.8	0.5	25.6
	外国人の多い世帯	100.0	74.9	67.3	-1	6.8	0.7	60.8	57.7	-	2.5	0.7	14.0	9.6	4.3	0.1	24.8

(注) 回収時期及び回収方法の不詳を含む

※ 調査区番号が不詳の調査票については、地域特性を特定できないため、集計対象から除いている

3 調査票提出の周知方法別の状況

調査票の提出は、地域の実情に応じて、提出方法のいずれかを強調して周知することとしても差し支えないこととした。調査票提出の周知方法別にみると、調査員回収を強調した地域で調査票を回収した世帯の割合が最も高くなっている。

また、調査員回収を強調した地域においては、調査員回収の割合が高く、郵送回収を強調した地域においては、郵送回収の割合が高くなっているが、オートロックマンション1棟でいくつかの調査区を構成している地域では、調査員回収を強調した地域においても、郵送回収の割合が高くなっている。

地域特性、調査票提出の周知方法、調査票回収方法別世帯数

	総数	総数					当初回収					フォローアップ回収				聞き取り
		総数(注)	郵送回収	オンライン回収	調査員回収	持参回収	総数	郵送回収	オンライン回収	調査員回収	持参回収	総数	郵送回収	調査員回収	持参回収	
総数	22,406	18,682	12,335	473	5,654	80	17,071	11,197	473	5,335	69	1,468	1,138	310	11	3,724
郵送回収を強調	6,530	5,253	4,358	217	636	17	4,727	3,931	217	566	13	501	427	70	4	1,277
調査員回収を強調	1,092	1,027	336	4	678	3	956	297	4	653	2	65	39	251	1	65
回収方法を強調していない	14,333	12,058	7,362	231	4,299	59	11,078	6,713	231	4,081	53	873	649	218	6	2,275
郵送回収及びオンライン回収を強調	444	340	277	21	40	1	311	255	21	34	1	28	22	6	0	104
一戸建の多い地域	7,689	7,289	4,162	103	2,974	27	6,945	3,938	103	2,880	24	321	224	94	3	400
郵送回収を強調	2,122	1,948	1,549	44	340	5	1,818	1,461	44	309	4	120	88	31	1	174
調査員回収を強調	652	623	153	0	466	2	604	140	0	463	1	17	13	3	1	29
回収方法を強調していない	4,778	4,594	2,347	56	2,160	20	4,407	2,232	56	2,100	19	176	115	60	1	184
郵送回収及びオンライン回収を強調	137	124	113	3	8	0	116	105	3	8	0	8	8	0	0	13
オートロックマンション1棟でいくつかの調査区を構成している地域	4,907	4,310	3,492	128	636	29	3,934	3,210	128	572	24	351	282	64	5	597
郵送回収を強調	1,510	1,332	1,165	65	90	9	1,225	1,075	65	79	6	104	90	11	3	178
調査員回収を強調	258	244	147	4	90	1	204	124	4	75	1	38	23	15	0	14
回収方法を強調していない	3,045	2,650	2,125	54	433	19	2,428	1,958	54	399	17	203	167	34	2	395
郵送回収及びオンライン回収を強調	94	84	55	5	23	0	77	53	5	19	0	6	2	4	0	10
ワンルームマンションなど単身者が居住する住宅の多い地域	4,830	3,261	2,010	107	1,087	12	2,813	1,699	107	997	10	403	311	90	2	1,569
郵送回収を強調	1,532	950	756	56	136	1	814	635	56	122	1	135	121	14	0	582
調査員回収を強調	91	78	13	0	65	0	72	11	0	61	0	6	2	4	0	13
回収方法を強調していない	3,102	2,191	1,209	47	881	10	1,889	1,025	47	809	8	258	184	72	2	911
郵送回収及びオンライン回収を強調	105	42	32	4	5	1	38	28	4	5	1	4	4	0	0	38
学校の学生寮・寄宿舎または社会施設がある地域	260	230	116	4	94	0	204	107	4	93	0	10	9	1	0	30
郵送回収を強調	100	82	68	0	11	0	72	61	0	11	0	7	7	0	0	18
調査員回収を強調	5	5	0	0	3	0	3	0	0	3	0	0	0	0	0	0
回収方法を強調していない	155	143	48	4	80	0	129	46	4	79	0	3	2	1	0	12
郵送回収及びオンライン回収を強調	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他の共同住宅の地域	4,713	3,588	2,553	131	862	12	3,176	2,242	131	792	11	382	311	70	1	1,125
郵送回収を強調	1,266	941	820	52	59	2	798	699	52	45	2	135	121	14	0	325
調査員回収を強調	86	77	23	0	54	0	73	22	0	51	0	4	1	3	0	9
回収方法を強調していない	3,253	2,480	1,633	70	745	10	2,225	1,452	70	694	9	233	181	51	1	773
郵送回収及びオンライン回収を強調	108	90	77	9	4	0	80	69	9	2	0	10	8	2	0	18
総数	100.0	83.4	55.1	(2.1)	25.2	0.4	76.2	50.0	(2.1)	23.8	0.3	6.6	5.1	1.4	0.0	16.6
郵送回収を強調	100.0	80.4	66.7	(3.3)	9.7	0.3	72.4	60.2	(3.3)	8.7	0.2	7.7	6.5	1.1	0.1	19.6
調査員回収を強調	100.0	94.0	30.8	(0.4)	62.1	0.3	87.5	27.2	(0.4)	59.8	0.2	6.0	3.6	2.3	0.1	6.0
回収方法を強調していない	100.0	84.1	51.4	(1.6)	30.0	0.4	77.3	46.8	(1.6)	28.5	0.4	6.1	4.5	1.5	0.0	15.9
郵送回収及びオンライン回収を強調	100.0	76.6	62.4	(4.7)	9.0	0.2	70.0	57.4	(4.7)	7.7	0.2	6.3	5.0	1.4	0.0	23.4
一戸建の多い地域	100.0	94.8	54.1	(1.3)	38.7	0.4	90.3	51.2	(1.3)	37.5	0.3	4.2	2.9	1.3	0.0	5.2
郵送回収を強調	100.0	91.8	73.0	(2.1)	16.0	0.2	85.7	68.9	(2.1)	14.6	0.2	5.7	4.1	1.5	0.0	8.2
調査員回収を強調	100.0	95.6	23.5	(0.0)	71.5	0.3	92.6	21.5	(0.0)	71.0	0.2	2.6	2.0	0.5	0.2	4.4
回収方法を強調していない	100.0	96.1	49.1	(1.2)	45.2	0.4	92.2	46.7	(1.2)	44.0	0.4	3.7	2.4	1.3	0.0	3.9
郵送回収及びオンライン回収を強調	100.0	90.5	82.5	(2.2)	5.8	0.0	84.7	76.6	(2.2)	5.8	0.0	5.8	5.8	0.0	0.0	9.5
オートロックマンション1棟でいくつかの調査区を構成している地域	100.0	87.8	71.2	(2.6)	13.0	0.6	80.2	65.4	(2.6)	11.7	0.5	7.2	5.7	1.3	0.1	12.2
郵送回収を強調	100.0	88.2	77.2	(4.3)	6.0	0.6	81.1	71.2	(4.3)	5.2	0.4	6.9	6.0	0.7	0.2	11.8
調査員回収を強調	100.0	94.6	57.0	(1.6)	34.9	0.4	79.1	48.1	(1.6)	29.1	0.4	14.7	8.9	5.8	0.0	5.4
回収方法を強調していない	100.0	87.0	69.8	(1.8)	14.2	0.6	79.7	64.3	(1.8)	13.1	0.6	6.7	5.5	1.1	0.1	13.0
郵送回収及びオンライン回収を強調	100.0	89.4	58.5	(5.3)	24.5	0.0	81.9	56.4	(5.3)	20.2	0.0	6.4	2.1	4.3	0.0	10.6
ワンルームマンションなど単身者が居住する住宅の多い地域	100.0	67.5	41.6	(2.2)	22.5	0.2	58.2	35.2	(2.2)	20.6	0.2	8.3	6.4	1.9	0.0	32.5
郵送回収を強調	100.0	62.0	49.3	(3.7)	8.9	0.1	53.1	41.4	(3.7)	8.0	0.1	8.8	7.9	0.9	0.0	38.0
調査員回収を強調	100.0	85.7	14.3	(0.0)	71.4	0.0	79.1	12.1	(0.0)	67.0	0.0	6.6	2.2	4.4	0.0	14.3
回収方法を強調していない	100.0	70.6	39.0	(1.5)	28.4	0.3	60.9	33.0	(1.5)	26.1	0.3	8.3	5.9	2.3	0.1	29.4
郵送回収及びオンライン回収を強調	100.0	40.0	30.5	(3.8)	4.8	1.0	36.2	26.7	(3.8)	4.8	1.0	3.8	3.8	0.0	0.0	60.0
学校の学生寮・寄宿舎または社会施設がある地域	100.0	88.5	44.6	(1.5)	36.2	0.0	78.5	41.2	(1.5)	35.8	0.0	3.8	3.5	0.4	0.0	11.5
郵送回収を強調	100.0	82.0	68.0	(0.0)	11.0	0.0	72.0	61.0	(0.0)	11.0	0.0	7.0	7.0	0.0	0.0	18.0
調査員回収を強調	100.0	100.0	0.0	(0.0)	60.0	0.0	60.0	0.0	(0.0)	60.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
回収方法を強調していない	100.0	92.3	31.0	(2.6)	51.6	0.0	83.2	29.7	(2.6)	51.0	0.0	1.9	1.3	0.6	0.0	7.7
郵送回収及びオンライン回収を強調	100.0	0.0	0.0	(0.0)	0.0	0.0	0.0	0.0	(0.0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他の共同住宅の地域	100.0	76.1	54.2	(2.8)	18.3	0.3	67.4	47.6	(2.8)	16.8	0.2	8.1	6.6	1.5	0.0	23.9
郵送回収を強調	100.0	74.3	64.8	(4.1)	4.7	0.2	63.0	55.2	(4.1)	3.6	0.2	10.7	9.6	1.1	0.0	25.7
調査員回収を強調	100.0	89.5	26.7	(0.0)	62.8	0.0	84.9	25.6	(0.0)	59.3	0.0	4.7	1.2	3.5	0.0	10.5
回収方法を強調していない	100.0	76.2	50.2	(2.2)	22.9	0.3	68.4	44.6	(2.2)	21.3	0.3	7.2	5.6	1.6	0.0	23.8
郵送回収及びオンライン回収を強調	100.0	83.3	71.3	(8.3)	3.7	0.0	74.1	63.9	(8.3)	1.9	0.0	9.3	7.4	1.9	0.0	16.7

(注) 回収時期及び回収方法の不詳を含む

※ 調査区番号が不詳の調査票については、地域特性を特定できないため、集計対象から除いている

【参考】平成22年国勢調査第2次試験調査の調査票の回収状況

地域特性、調査票提出の周知方法、調査票回収方法別世帯数

	総数	総数					当初回収					フォローアップ回収					聞き取り
		総数(注)	郵送回収	オンライン回収	調査員回収	持参回収	総数	郵送回収	オンライン回収	調査員回収	持参回収	総数	郵送回収	調査員回収	持参回収		
総数	13,808	11,046	7,220	326	3,342	114	9,739	6,604	326	2,712	97	1,263	616	630	17	2,762	
強調周知型	6,553	5,172	4,494	123	501	43	4,403	4,121	123	125	34	758	373	376	9	1,381	
並列周知型	7,255	5,874	2,726	203	2,841	71	5,336	2,483	203	2,587	63	505	243	254	8	1,381	
一戸建の多い地域	4,808	4,508	2,896	76	1,473	41	4,161	2,777	76	1,274	34	325	119	199	7	300	
強調周知型	2,378	2,228	1,962	29	210	22	2,006	1,888	29	70	19	217	74	140	3	150	
並列周知型	2,430	2,281	934	47	1,263	19	2,155	889	47	1,204	15	108	45	59	4	149	
共同住宅の多い地域	5,098	3,888	2,486	94	1,237	51	3,386	2,238	94	1,009	45	482	248	228	6	1,210	
強調周知型	2,355	1,736	1,520	35	163	13	1,453	1,377	35	30	11	278	143	133	2	619	
並列周知型	2,743	2,152	966	59	1,074	38	1,933	861	59	979	34	204	105	95	4	591	
オートロックマンション1棟でいくつかの調査区を構成している地域	1,995	1,627	1,180	106	324	16	1,408	1,038	106	250	14	218	142	74	2	368	
強調周知型	982	767	680	39	42	5	635	583	39	10	3	131	97	32	2	215	
並列周知型	1,013	860	500	67	282	11	773	455	67	240	11	87	45	42	0	153	
ワンルームマンションなど単身者が居住する住宅の多い地域	1,903	1,019	658	50	304	6	780	551	50	175	4	238	107	129	2	884	
強調周知型	834	437	332	20	82	3	305	273	20	11	1	132	59	71	2	397	
並列周知型	1,069	582	326	30	222	3	475	278	30	164	3	106	48	58	0	487	
学生寮のある地域	4	4	0	0	4	0	4	0	0	4	0	0	0	0	0	0	
強調周知型	4	4	0	0	4	0	4	0	0	4	0	0	0	0	0	0	
並列周知型	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
総数	100.0	80.0	52.3	2.4	24.2	0.8	70.5	47.8	2.4	19.6	0.7	9.1	4.5	4.6	0.1	20.0	
強調周知型	100.0	78.9	68.6	1.9	7.6	0.7	67.2	62.9	1.9	1.9	0.5	11.6	5.7	5.7	0.1	21.1	
並列周知型	100.0	81.0	37.6	2.8	39.2	1.0	73.5	34.2	2.8	35.7	0.9	7.0	3.3	3.5	0.1	19.0	
一戸建の多い地域	100.0	93.8	60.2	1.6	30.6	0.9	86.5	57.8	1.6	26.5	0.7	6.8	2.5	4.1	0.1	6.2	
強調周知型	100.0	93.7	82.5	1.2	8.8	0.9	84.4	79.4	1.2	2.9	0.8	9.1	3.1	5.9	0.1	6.3	
並列周知型	100.0	93.9	38.4	1.9	52.0	0.8	88.7	36.6	1.9	49.5	0.6	4.4	1.9	2.4	0.2	6.1	
共同住宅の多い地域	100.0	76.3	48.8	1.8	24.3	1.0	66.4	43.9	1.8	19.8	0.9	9.5	4.9	4.5	0.1	23.7	
強調周知型	100.0	73.7	64.5	1.5	6.9	0.6	61.7	58.5	1.5	1.3	0.5	11.8	6.1	5.6	0.1	26.3	
並列周知型	100.0	78.5	35.2	2.2	39.2	1.4	70.5	31.4	2.2	35.7	1.2	7.4	3.8	3.5	0.1	21.5	
オートロックマンション1棟でいくつかの調査区を構成している地域	100.0	81.6	59.1	5.3	16.2	0.8	70.6	52.0	5.3	12.5	0.7	10.9	7.1	3.7	0.1	18.4	
強調周知型	100.0	78.1	69.2	4.0	4.3	0.5	64.7	59.4	4.0	1.0	0.3	13.3	9.9	3.3	0.2	21.9	
並列周知型	100.0	84.9	49.4	6.6	27.8	1.1	76.3	44.9	6.6	23.7	1.1	8.6	4.4	4.1	0.0	15.1	
ワンルームマンションなど単身者が居住する住宅の多い地域	100.0	53.5	34.6	2.6	16.0	0.3	41.0	29.0	2.6	9.2	0.2	12.5	5.6	6.8	0.1	46.5	
強調周知型	100.0	52.4	39.8	2.4	9.8	0.4	36.6	32.7	2.4	1.3	0.1	15.8	7.1	8.5	0.2	47.6	
並列周知型	100.0	54.4	30.5	2.8	20.8	0.3	44.4	26.0	2.8	15.3	0.3	9.9	4.5	5.4	0.0	45.6	
学生寮のある地域	100.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
強調周知型	100.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
並列周知型	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

(注) 回収時期及び回収方法の不詳を含む

※ 調査区番号が不詳の調査票については、地域特性を特定できないため、集計対象から除いている

(参考)

強調周知型：郵送提出を基本とし、そのほか調査員提出、市区町への持参やオンライン提出も可能である旨を周知する方法
 並列周知型：調査員提出のほか、郵送提出、市区町への持参やオンライン提出も可能である旨を周知する方法

4 担当調査区内の世帯についての調査員の認知度別の状況

担当調査区内の世帯について調査員がどの程度知っていたかの別にみると、調査票を回収した世帯の割合に差異はなかった。

回収方法別にみると、郵送回収の割合は調査区内の世帯をほとんど知らなかった地域（56.4%）で高くなっている一方、調査員回収の割合は調査区内の世帯をよく知っていた地域（34.6%）で高くなっている。

これを調査票提出の周知方法別にみると、いずれの認知度でも、調査員回収を強調した地域で調査票を回収した世帯の割合が高くなっている。

調査員の調査区内世帯の認知度、調査票提出の周知方法、調査票回収方法別世帯数

	総数	総数					当初回収					フォローアップ回収				聞き取り
		総数 (注1)	郵送 回収	オン ライン 回収	調査員 回収	持参 回収	総数	郵送 回収	オン ライン 回収	調査員 回収	持参 回収	総数	郵送 回収	調査員 回収	持参 回収	
総数 (注2)	22,406	18,682	12,335	473	5,654	80	17,074	11,197	473	5,335	69	1,468	1,138	319	11	3,724
郵送回収を強調	6,530	5,253	4,358	217	636	17	4,727	3,931	217	566	13	501	427	70	4	1,277
調査員回収を強調	1,092	1,027	336	4	678	3	956	297	41	653	2	65	39	25	1	65
回収方法を強調していない	14,333	12,058	7,362	231	4,299	59	11,078	6,713	231	4,081	53	873	649	218	6	2,275
郵送回収及びオンライン回収を強調	444	340	277	21	40	1	311	255	21	34	1	28	22	6	0	104
よく知っていた	1,438	1,211	675	29	498	1	1,131	606	29	495	1	72	69	3	0	227
郵送回収を強調	475	400	335	15	47	0	353	294	15	44	0	44	41	3	0	75
調査員回収を強調	59	59	1	0	58	0	59	1	0	58	0	0	0	0	0	0
回収方法を強調していない	862	713	308	13	386	1	680	280	13	386	1	28	28	0	0	149
郵送回収及びオンライン回収を強調	42	39	31	1	7	0	39	31	1	7	0	0	0	0	0	3
多少知っていた	4,847	4,159	2,681	123	1,293	15	3,798	2,432	123	1,228	15	314	249	65	0	688
郵送回収を強調	1,477	1,233	1,024	62	135	4	1,096	915	62	115	4	129	109	20	0	244
調査員回収を強調	367	339	80	0	257	1	328	74	0	253	1	10	6	4	0	28
回収方法を強調していない	2,706	2,328	1,363	45	873	10	2,140	1,247	45	838	10	151	116	35	0	378
郵送回収及びオンライン回収を強調	297	259	214	16	28	0	234	196	16	22	0	24	18	6	0	38
ほとんど知らなかった	15,366	12,751	8,661	309	3,637	63	11,629	7,875	309	3,393	52	1,041	786	244	11	2,615
郵送回収を強調	4,461	3,544	2,932	135	451	13	3,208	2,659	135	405	9	323	273	46	4	917
調査員回収を強調	564	533	225	4	298	1	484	201	4	279	0	44	24	19	1	31
回収方法を強調していない	10,236	8,632	5,472	166	2,883	48	7,899	4,987	166	2,704	42	670	485	179	6	1,604
郵送回収及びオンライン回収を強調	105	42	32	4	5	1	38	28	4	5	1	4	4	0	0	63
総数	100.0	83.4	55.1	(2.1)	25.2	0.4	76.2	50.0	(2.1)	23.8	0.3	6.6	5.1	1.4	0.0	16.6
郵送回収を強調	100.0	80.4	66.7	(3.3)	9.7	0.3	72.4	60.2	(3.3)	8.7	0.2	7.7	6.5	1.1	0.1	19.6
調査員回収を強調	100.0	94.0	30.8	(0.4)	62.1	0.3	87.5	27.2	(0.4)	59.8	0.2	6.0	3.6	2.3	0.1	6.0
回収方法を強調していない	100.0	84.1	51.4	(1.6)	30.0	0.4	77.3	46.8	(1.6)	28.5	0.4	6.1	4.5	1.5	0.0	15.9
郵送回収及びオンライン回収を強調	100.0	76.6	62.4	(4.7)	9.0	0.2	70.0	57.4	(4.7)	7.7	0.2	6.3	5.0	1.4	0.0	23.4
よく知っていた	100.0	84.2	46.9	(2.0)	34.6	0.1	78.7	42.1	(2.0)	34.4	0.1	5.0	4.8	0.2	0.0	15.8
郵送回収を強調	100.0	84.2	70.5	(3.2)	9.9	0.0	74.3	61.9	(3.2)	9.3	0.0	9.3	8.6	0.6	0.0	15.8
調査員回収を強調	100.0	100.0	1.7	(0.0)	98.3	0.0	100.0	1.7	(0.0)	98.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
回収方法を強調していない	100.0	82.7	35.7	(1.5)	44.8	0.1	78.9	32.5	(1.5)	44.8	0.1	3.2	3.2	0.0	0.0	17.3
郵送回収及びオンライン回収を強調	100.0	92.9	73.8	(2.4)	16.7	0.0	92.9	73.8	(2.4)	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.1
多少知っていた	100.0	85.8	55.3	(2.5)	26.7	0.3	78.4	50.2	(2.5)	25.3	0.3	6.5	5.1	1.3	0.0	14.2
郵送回収を強調	100.0	83.5	69.3	(4.2)	9.1	0.3	74.2	61.9	(4.2)	7.8	0.3	8.7	7.4	1.4	0.0	16.5
調査員回収を強調	100.0	92.4	21.8	(0.0)	70.0	0.3	89.4	20.2	(0.0)	68.9	0.3	2.7	1.6	1.1	0.0	7.6
回収方法を強調していない	100.0	86.0	50.4	(1.7)	32.3	0.4	79.1	46.1	(1.7)	31.0	0.4	5.6	4.3	1.3	0.0	14.0
郵送回収及びオンライン回収を強調	100.0	87.2	72.1	(5.4)	9.4	0.0	78.8	66.0	(5.4)	7.4	0.0	8.1	6.1	2.0	0.0	12.8
ほとんど知らなかった	100.0	83.0	56.4	(2.0)	23.7	0.4	75.7	51.2	(2.0)	22.1	0.3	6.8	5.1	1.6	0.1	17.0
郵送回収を強調	100.0	79.4	65.7	(3.0)	10.1	0.3	71.9	59.6	(3.0)	9.1	0.2	7.2	6.1	1.0	0.1	20.6
調査員回収を強調	100.0	94.5	39.9	(0.7)	52.8	0.2	85.8	35.6	(0.7)	49.5	0.0	7.8	4.3	3.4	0.2	5.5
回収方法を強調していない	100.0	84.3	53.5	(1.6)	28.2	0.5	77.2	48.7	(1.6)	26.4	0.4	6.5	4.7	1.7	0.1	15.7
郵送回収及びオンライン回収を強調	100.0	40.0	30.5	(3.8)	4.8	1.0	36.2	26.7	(3.8)	4.8	1.0	3.8	3.8	0.0	0.0	60.0

(注1) 回収時期及び回収方法の不詳を含む

(注2) 調査員の調査区内世帯の認知度の不詳を含む

※ 調査区番号が不詳の調査票については、地域特性を特定できないため、集計対象から除いている

5 世帯主の年齢階級別の状況

調査票を回収した世帯について、世帯主の年齢階級別にみると、郵送回収は35～39歳（70.9%）で多くなっている。オンライン回収は20～24歳（6.0%）が多くなっており、年齢階級が低くなるほどオンライン回収の割合が高くなっている。調査員回収は85歳以上（45.4%）が多くなっており、おおむね年齢階級が高くなるほど調査員回収の割合が高くなっている。

また、当初の回収期間に調査票を回収した世帯についてみると、おおむね年齢階級が高くなるほど調査票を回収した世帯の割合が高くなっている。

世帯主の年齢階級、調査票回収方法別世帯数

	総 数					当初回収					フォローアップ回収			
	総数 (注)	郵送 回収	オン ライン 回収	調査員 回収	持参 回収	総数	郵送 回収	オン ライン 回収	調査員 回収	持参 回収	総数	郵送 回収	調査員 回収	持参 回収
実 数	18,682	12,335	473	5,654	80	17,074	11,197	473	5,335	69	1,468	1,138	319	11
15歳未満	8	5	0	3	0	8	5	0	3	0	0	0	0	0
15～19歳	528	272	27	226	0	463	229	27	207	0	62	43	19	0
20～24歳	1,038	637	62	330	1	846	496	62	287	1	184	141	43	0
25～29歳	639	446	34	140	1	535	374	34	126	1	86	72	14	0
30～34歳	934	658	45	214	3	809	573	45	189	2	111	85	25	1
35～39歳	1,328	941	57	311	6	1,160	818	57	279	6	155	123	32	0
40～44歳	1,572	1,112	68	375	3	1,407	995	68	341	3	151	117	34	0
45～49歳	1,518	1,063	70	368	10	1,399	977	70	343	9	112	86	25	1
50～54歳	1,549	1,082	39	409	9	1,423	989	39	387	8	116	93	22	1
55～59歳	1,572	1,078	23	463	5	1,479	1,010	23	443	3	90	68	20	2
60～64歳	1,548	1,022	21	500	2	1,485	971	21	491	2	60	51	9	0
65～69歳	1,395	915	9	464	3	1,344	880	9	453	2	47	35	11	1
70～74歳	1,193	706	11	456	16	1,163	688	11	450	14	26	18	6	2
75～79歳	989	577	4	398	9	962	559	4	391	8	26	18	7	1
80～84歳	664	355	2	300	4	641	345	2	290	4	20	10	10	0
85歳以上	392	212	1	178	0	387	208	1	178	0	4	4	0	0
無記入・不詳	1,815	1,254	0	519	8	1,563	1,080	0	477	6	218	174	42	2
構 成 比 (%)	100.0	66.0	(2.5)	30.3	0.4	91.4	59.9	(2.5)	28.6	0.4	7.9	6.1	1.7	0.1
15歳未満	100.0	62.5	(0.0)	37.5	0.0	100.0	62.5	(0.0)	37.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
15～19歳	100.0	51.5	(5.1)	42.8	0.0	87.7	43.4	(5.1)	39.2	0.0	11.7	8.1	3.6	0.0
20～24歳	100.0	61.4	(6.0)	31.8	0.1	81.5	47.8	(6.0)	27.6	0.1	17.7	13.6	4.1	0.0
25～29歳	100.0	69.8	(5.3)	21.9	0.2	83.7	58.5	(5.3)	19.7	0.2	13.5	11.3	2.2	0.0
30～34歳	100.0	70.4	(4.8)	22.9	0.3	86.6	61.3	(4.8)	20.2	0.2	11.9	9.1	2.7	0.1
35～39歳	100.0	70.9	(4.3)	23.4	0.5	87.3	61.6	(4.3)	21.0	0.5	11.7	9.3	2.4	0.0
40～44歳	100.0	70.7	(4.3)	23.9	0.2	89.5	63.3	(4.3)	21.7	0.2	9.6	7.4	2.2	0.0
45～49歳	100.0	70.0	(4.6)	24.2	0.7	92.2	64.4	(4.6)	22.6	0.6	7.4	5.7	1.6	0.1
50～54歳	100.0	69.9	(2.5)	26.4	0.6	91.9	63.8	(2.5)	25.0	0.5	7.5	6.0	1.4	0.1
55～59歳	100.0	68.6	(1.5)	29.5	0.3	94.1	64.2	(1.5)	28.2	0.2	5.7	4.3	1.3	0.1
60～64歳	100.0	66.0	(1.4)	32.3	0.1	95.9	62.7	(1.4)	31.7	0.1	3.9	3.3	0.6	0.0
65～69歳	100.0	65.6	(0.6)	33.3	0.2	96.3	63.1	(0.6)	32.5	0.1	3.4	2.5	0.8	0.1
70～74歳	100.0	59.2	(0.9)	38.2	1.3	97.5	57.7	(0.9)	37.7	1.2	2.2	1.5	0.5	0.2
75～79歳	100.0	58.3	(0.4)	40.2	0.9	97.3	56.5	(0.4)	39.5	0.8	2.6	1.8	0.7	0.1
80～84歳	100.0	53.5	(0.3)	45.2	0.6	96.5	52.0	(0.3)	43.7	0.6	3.0	1.5	1.5	0.0
85歳以上	100.0	54.1	(0.3)	45.4	0.0	98.7	53.1	(0.3)	45.4	0.0	1.0	1.0	0.0	0.0
無記入・不詳	100.0	69.1	(0.0)	28.6	0.4	86.1	59.5	(0.0)	26.3	0.3	12.0	9.6	2.3	0.1

(注) 回収時期及び回収の方法の不詳を含む

第2 調査票の記入状況

1 調査票の記入不備の有無の状況

調査票を回収した世帯のうち、人口・世帯に関する統計を集計する上で最も基本的な調査項目である「男女の別」及び「出生の年月」が記入漏れで、「世帯主との続き柄」、「配偶の関係」又は「国籍」のいずれか一つでも記入漏れ（調査票第1面・第2面ともに白紙を含む）がある世帯や、聞き取り世帯については、集計対象から除外している。

(1) 全体の状況

調査項目に記入漏れ、ダブルマーク等の記入不備のある世帯数は 8,499 世帯（45.6%）、記入不備のない世帯数は 10,150 世帯（54.4%）となっている。

調査項目別にみると、世帯に関する調査項目（以下「世帯項目」という。）に記入不備のある世帯数は 4,486 世帯（24.1%）、世帯員に関する調査項目（以下「世帯員項目」という。）に記入不備のある世帯は 6,267 世帯（33.6%）となっている。

記入不備状況別世帯数

	総数	記入不備のない世帯	記入不備のある世帯	うち 世帯項目 に記入不備 のある世帯	うち 世帯員項目 に記入不備 のある世帯	うち 第2面 が白紙	(別掲) 調査票第1 面・第2面 ともに白紙
総数	18,649	10,150	8,499	4,486	6,267	394	1
構成比(%)	100.0	54.4	45.6	24.1	33.6	2.1	-

【参考】平成22年国勢調査第1、2次試験調査の調査票の記入不備状況

記入不備状況別世帯数

	総数	記入不備のない世帯	記入不備のある世帯	うち 世帯項目 に記入不備 のある世帯	うち 世帯員項目 に記入不備 のある世帯	うち 第2面 が白紙	(別掲) 調査票第1 面・第2面 ともに白紙
第2次試験調査	11,029	3,102	7,927	5,077	6,092	221	2
構成比(%)	100.0	28.1	71.9	46.0	55.2	2.0	-
第1次試験調査	18,322	3,978	14,344	7,338	11,899	15	52
構成比(%)	100.0	21.7	78.3	40.1	64.9	0.1	-

※市区町における審査実施前の調査票を集計した結果

また、調査票1枚当たりの記入不備件数をみると、総数0.84件となっており、そのうち、記入漏れが0.74件、記入誤りが0.10件となっている。

調査票1枚当たりの記入不備件数

	記 入 不 備						
	総 数	記入漏れ	記入誤り	うち調査項目間の記入の不整合	うちダブルマーク	うち右づめ誤り	うち規定コード以外
総 数	0.84	0.74	0.10	0.01	0.04	0.00	0.05

【参考】平成22年国勢調査第1、2次試験調査の記入不備件数

調査票1枚当たりの記入不備件数

	記 入 不 備						
	総 数	記入漏れ	記入誤り	うち調査項目間の記入の不整合	うちダブルマーク	うち右づめ誤り	うち規定コード以外
第2次試験調査	1.92	1.71	0.21	0.06	0.10	0.01	0.04
第1次試験調査	2.77	2.51	0.26	-	0.14	0.07	0.06

※市区町における審査実施前の調査票を集計した結果

【参考】平成22年国勢調査第1～3次試験調査と平成17年国勢調査第1次試験調査との比較
調査票1枚当たりの記入漏れ件数

	平成22年国勢調査			平成17年国勢調査 第1次試験調査 (注)	
	第3次 試験調査	第2次 試験調査 (注)	第1次 試験調査 (注)	郵送方式	全封入方式
男女の別	0.00	0.03	0.02	0.01	0.01
世帯主との続き柄	0.01	0.06	0.03	0.06	0.03
出生の年月	元号・西暦	0.02	0.08	0.14	0.10
	年月	0.02	0.08	0.15	0.06
配偶の関係	0.06	0.17	0.14	0.17	0.13
国籍(区分)	0.01	0.06	0.04	0.10	0.06
就業状態	0.07	0.17	0.19	0.20	0.15
従業地又は通学地(区分)	0.07	0.19	0.19	0.21	0.21
勤めか自営かの別	0.03	0.05	0.05	0.06	0.04
世帯員の数	0.00	0.01	0.24	0.04	0.05
住居の種類	0.01	0.02	0.03	0.03	0.02
住宅の建て方	0.01	0.02	0.03	0.05	0.05
住宅の床面積の合計	0.05	0.05	0.08	0.12	0.08

(注) 市区町における審査実施前の調査票を集計した結果

※共通調査項目のみ

(2) 調査票の回収方法別の状況

調査票の回収方法別にみると、調査票の記入不備のない世帯の割合は、オンライン回収（95.6%）を除くと郵送回収が54.7%と最も高く、次いで調査員回収（51.4%）、持参回収（50.0%）の順となっている。

調査票の回収時期別にみると、調査票の記入不備のない世帯の割合は、すべての回収方法で当初回収のほうが高くなっている。

調査票回収方法、記入不備状況別世帯数

		総数	記入不備のない世帯	記入不備のある世帯	うち世帯項目に記入不備のある世帯	うち世帯員項目に記入不備のある世帯	うち第2面が白紙	(別掲)調査票第1面・第2面ともに白紙	
実数	総数	総数 (注)	18,649	10,150	8,499	4,486	6,267	394	1
		郵送回収	12,331	6,742	5,589	2,892	4,091	175	0
		オンライン回収	473	452	21	21	0	0	0
		調査員回収	5,647	2,903	2,744	1,459	2,047	142	1
		持参回収	80	40	40	26	29	3	0
	当初回収	総数	17,064	9,522	7,542	3,838	5,603	296	1
		郵送回収	11,194	6,259	4,935	2,465	3,654	158	0
		オンライン回収	473	452	21	21	0	0	0
		調査員回収	5,328	2,776	2,552	1,332	1,924	136	1
		持参回収	69	35	34	20	25	2	0
	フ ォ ア ッ プ 回 収	総数	1,467	615	852	560	564	24	0
		郵送回収	1,137	483	654	427	437	17	0
調査員回収		319	127	192	127	123	6	0	
持参回収		11	5	6	6	4	1	0	
構成比 (%)	総数	総数	100.0	54.4	45.6	24.1	33.6	2.1	-
		郵送回収	100.0	54.7	45.3	23.5	33.2	1.4	-
		オンライン回収	100.0	(95.6)	(4.4)	(4.4)	(0.0)	(0.0)	-
		調査員回収	100.0	51.4	48.6	25.8	36.2	2.5	-
		持参回収	100.0	50.0	50.0	32.5	36.3	3.8	-
	当初回収	総数	100.0	55.8	44.2	22.5	32.8	1.7	-
		郵送回収	100.0	55.9	44.1	22.0	32.6	1.4	-
		オンライン回収	100.0	(95.6)	(4.4)	(4.4)	(0.0)	(0.0)	-
		調査員回収	100.0	52.1	47.9	25.0	36.1	2.6	-
		持参回収	100.0	50.7	49.3	29.0	36.2	2.9	-
	フ ォ ア ッ プ 回 収	総数	100.0	41.9	58.1	38.2	38.4	1.6	-
		郵送回収	100.0	42.5	57.5	37.6	38.4	1.5	-
調査員回収		100.0	39.8	60.2	39.8	38.6	1.9	-	
持参回収		100.0	45.5	54.5	54.5	36.4	9.1	-	

(注) 回収時期及び回収方法の不詳を含む

(3) 調査票提出の周知方法別の状況

調査票提出の周知方法別にみると、調査票の記入不備のない世帯の割合は、調査員回収を強調した世帯（57.0%）で高くなっている。

調査票提出の周知方法、調査票回収方法、記入不備状況別世帯数

		総数	記入不備のない世帯	記入不備のある世帯	うち 世帯項目 に記入不備 のある世帯	うち 世帯員項目 に記入不備 のある世帯	うち 第2面 が白紙
実 数	総数（注）	18,649	10,150	8,499	4,486	6,267	394
	郵送回収を強調	5,251	2,843	2,408	1,263	1,755	94
	調査員回収を強調	1,026	585	441	228	318	18
	回収方法を強調していない	12,028	6,582	5,446	2,903	4,022	273
	郵送回収及びオンライン回収を強調	340	139	201	89	171	9
構 成 比 （ %）	総数	100.0	54.4	45.6	24.1	33.6	2.1
	郵送回収を強調	100.0	54.1	45.9	24.1	33.4	1.8
	調査員回収を強調	100.0	57.0	43.0	22.2	31.0	1.8
	回収方法を強調していない	100.0	54.7	45.3	24.1	33.4	2.3
	郵送回収及びオンライン回収を強調	100.0	40.9	59.1	26.2	50.3	2.6

（注）調査区番号が不詳の調査票を含む

(4) 建物属性・世帯属性別の状況

建物属性別にみると、調査票の記入不備のない世帯の割合は、オートロックマンション1棟でいくつかの調査区を構成している地域に居住する世帯が58.1%と最も高く、次いで住宅の建て方が「一戸建」の住宅に居住する世帯(56.4%)となっている。

また、世帯属性別にみると、調査票の記入不備のない世帯の割合は、夫婦のみの世帯が59.4%と最も高くなっている。

建物属性・世帯属性、記入不備状況別世帯数

		総数	記入不備のない世帯	記入不備のある世帯	うち 世帯項目 に記入不備 のある世帯	うち 世帯員項目 に記入不備 のある世帯	うち 第2面 が白紙
実数	建物属性	総数	18,649	10,150	8,499	4,486	394
		住宅の建て方が「一戸建」の住宅に居住する世帯	8,327	4,699	3,628	1,422	178
		オートロックマンション1棟でいくつかの調査区を構成している地域に居住する世帯	4,306	2,501	1,805	916	76
		住宅の建て方が「共同住宅」で上記のオートロックマンション以外の共同住宅に居住する世帯	5,350	2,802	2,548	1,720	63
		住宅の建て方が「長屋建」または「その他」の世帯	217	107	110	59	11
		上記以外の世帯	449	41	408	369	66
	世帯属性	総数	18,649	10,150	8,499	4,486	394
		ワンルームマンションなど単身者が居住する住宅の多い地域の単身世帯	2,504	1,271	1,233	965	59
		上記以外の単身世帯	3,646	1,965	1,681	1,068	143
		夫婦のみの世帯	3,749	2,226	1,523	670	84
		上記以外の世帯	8,750	4,688	4,062	1,783	108
		(別掲) 学校の学生寮・寄宿舎の世帯	53	2	51	31	7
(別掲) 社会施設の世帯		6	0	6	3	1	
(別掲) 外国人のみの世帯	82	21	61	39	4		
構成比(%)	建物属性	総数	100.0	54.4	45.6	24.1	2.1
		住宅の建て方が「一戸建」の住宅に居住する世帯	100.0	56.4	43.6	17.1	2.1
		オートロックマンション1棟でいくつかの調査区を構成している地域に居住する世帯	100.0	58.1	41.9	21.3	1.8
		住宅の建て方が「共同住宅」で上記のオートロックマンション以外の共同住宅に居住する世帯	100.0	52.4	47.6	32.1	1.2
		住宅の建て方が「長屋建」または「その他」の世帯	100.0	49.3	50.7	27.2	5.1
		上記以外の世帯	100.0	9.1	90.9	82.2	14.7
	世帯属性	総数	100.0	54.4	45.6	24.1	2.1
		ワンルームマンションなど単身者が居住する住宅の多い地域の単身世帯	100.0	50.8	49.2	38.5	2.4
		上記以外の単身世帯	100.0	53.9	46.1	29.3	3.9
		夫婦のみの世帯	100.0	59.4	40.6	17.9	2.2
		上記以外の世帯	100.0	53.6	46.4	20.4	1.2
		(別掲) 学校の学生寮・寄宿舎の世帯	100.0	3.8	96.2	58.5	13.2
(別掲) 社会施設の世帯		100.0	0.0	100.0	50.0	16.7	
(別掲) 外国人のみの世帯	100.0	25.6	74.4	47.6	4.9		

(5) 世帯主の年齢階級別の状況

世帯主の年齢階級別にみると、調査票の記入不備のない世帯の割合は、45～49歳が65.6%と最も高くなっている。

年齢階級、記入不備状況別世帯数

		総数	記入不備のない世帯	記入不備のある世帯	うち 世帯項目 に記入不備 のある世帯	うち 世帯員項目 に記入不備 のある世帯	うち 第2面 が白紙
実 数	総数	18,649	10,150	8,499	4,486	6,267	394
	15歳未満	8	1	7	6	1	0
	15～19歳	528	294	234	207	77	3
	20～24歳	1,038	605	433	370	137	5
	25～29歳	639	391	248	187	114	16
	30～34歳	934	530	404	274	234	16
	35～39歳	1,328	819	509	301	320	21
	40～44歳	1,572	1,002	570	308	384	19
	45～49歳	1,518	996	522	293	340	11
	50～54歳	1,549	969	580	303	411	14
	55～59歳	1,572	930	642	306	485	17
	60～64歳	1,548	893	655	293	514	25
	65～69歳	1,395	797	598	261	472	31
	70～74歳	1,193	682	511	247	383	46
	75～79歳	989	597	392	208	300	55
80～84歳	664	385	279	130	223	44	
85歳以上	392	242	150	75	116	17	
無記入・不詳	1,782	17	1,765	717	1,756	54	
構 成 比 (%)	総数	100.0	54.4	45.6	24.1	33.6	2.1
	15歳未満	100.0	12.5	87.5	75.0	12.5	0.0
	15～19歳	100.0	55.7	44.3	39.2	14.6	0.6
	20～24歳	100.0	58.3	41.7	35.6	13.2	0.5
	25～29歳	100.0	61.2	38.8	29.3	17.8	2.5
	30～34歳	100.0	56.7	43.3	29.3	25.1	1.7
	35～39歳	100.0	61.7	38.3	22.7	24.1	1.6
	40～44歳	100.0	63.7	36.3	19.6	24.4	1.2
	45～49歳	100.0	65.6	34.4	19.3	22.4	0.7
	50～54歳	100.0	62.6	37.4	19.6	26.5	0.9
	55～59歳	100.0	59.2	40.8	19.5	30.9	1.1
	60～64歳	100.0	57.7	42.3	18.9	33.2	1.6
	65～69歳	100.0	57.1	42.9	18.7	33.8	2.2
	70～74歳	100.0	57.2	42.8	20.7	32.1	3.9
	75～79歳	100.0	60.4	39.6	21.0	30.3	5.6
80～84歳	100.0	58.0	42.0	19.6	33.6	6.6	
85歳以上	100.0	61.7	38.3	19.1	29.6	4.3	
無記入・不詳	100.0	1.0	99.0	40.2	98.5	3.0	

2 世帯員項目の記入状況

(1) 全体の状況

世帯員項目全体での記入不備の割合は2.5%であり、記入不備の内容としては記入漏れの割合が最も高くなっている。

	総数	正記入	記入不備				
			総数	記入漏れ	ダブルマーク	右づめ誤り	規定コード以外
総数	100.0	97.5	2.5	2.2	0.1	0.0	0.2

(2) 世帯員項目別の状況

世帯員項目別にみると、「在学か否かの別」が8.0%、「学校区分」が8.1%と「在学、卒業等教育の状況」の記入不備の割合が高くなっている。次いで、「就業状態」(3.9%)、「従業地又は通学地(区分)」(3.4%)となっている。

世帯員項目別記入不備率 (%)

	総数	正記入	記入不備				
			総数	記入漏れ	ダブルマーク	右づめ誤り	規定コード以外
総数	100.0	97.5	2.5	2.2	0.1	0.0	0.2
男女の別	100.0	99.9	0.1	0.1	0.0	-	-
世帯主との続き柄	100.0	99.5	0.5	0.4	0.1	-	-
出生の年月	元号・西暦	99.2	0.8	0.8	0.0	-	-
	年	97.6	2.4	0.4	-	0.0	1.9
	月	98.9	1.1	0.5	-	0.1	0.5
配偶の関係	100.0	97.0	3.0	3.0	0.0	-	-
国籍(区分)	100.0	99.4	0.6	0.6	0.0	-	-
現在の住居における居住期間	100.0	99.0	1.0	0.9	0.1	-	-
5年前の住居の所在地(区分)	100.0	99.0	1.0	0.9	0.0	-	-
在学、卒業等 教育の状況	100.0	92.0	8.0	8.0	0.0	-	-
就業状態	在学か否かの別	91.9	8.1	8.0	0.2	-	-
	学校区分	96.1	3.9	3.3	0.5	-	-
従業地又は通学地(区分)	100.0	96.6	3.4	3.3	0.1	-	-
利用交通手段	100.0	99.2	0.8	0.5	0.3	-	-
勤めか自営かの別	100.0	98.4	1.6	1.4	0.3	-	-

(3) 調査票提出の周知方法別の状況

調査票提出の周知方法別にみると、記入不備の割合は大きな差異はなかった。

調査票提出の周知方法、世帯員項目別記入不備率

(%)

	郵送回収を強調			調査員回収を強調			回収方法を強調していない			郵送回収及びオンライン回収を強調			
	総数	正記入	記入不備	総数	正記入	記入不備	総数	正記入	記入不備	総数	正記入	記入不備	
総数	100.0	97.5	2.5	100.0	97.7	2.3	100.0	97.6	2.4	100.0	96.0	4.0	
男女の別	100.0	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	100.0	99.9	0.1	100.0	100.0	0.0	
世帯主との続柄	100.0	99.6	0.4	100.0	99.5	0.5	100.0	99.4	0.6	100.0	98.0	2.0	
出生の年月	元号・西暦	100.0	99.1	0.9	100.0	99.4	0.6	100.0	99.2	0.8	100.0	98.7	1.3
	年 月	100.0	98.3	1.7	100.0	97.0	3.0	100.0	97.4	2.6	100.0	98.2	1.8
配偶の関係	100.0	97.1	2.9	100.0	95.6	4.4	100.0	97.1	2.9	100.0	93.4	6.6	
国籍(区分)	100.0	99.5	0.5	100.0	98.8	1.2	100.0	99.4	0.6	100.0	99.2	0.8	
現在の住居における居住期間	100.0	99.0	1.0	100.0	98.7	1.3	100.0	99.1	0.9	100.0	98.2	1.8	
5年前の住居の所在地(区分)	100.0	99.1	0.9	100.0	99.5	0.5	100.0	99.0	1.0	100.0	97.7	2.3	
在学、卒業等	100.0	91.6	8.4	100.0	93.4	6.6	100.0	92.2	7.8	100.0	86.4	13.6	
教育の状況	100.0	91.3	8.7	100.0	93.1	6.9	100.0	92.1	7.9	100.0	87.6	12.4	
就業状態	100.0	96.3	3.7	100.0	96.8	3.2	100.0	96.1	3.9	100.0	92.1	7.9	
従業地又は通学地(区分)	100.0	96.4	3.6	100.0	97.9	2.1	100.0	96.6	3.4	100.0	94.8	5.2	
利用交通手段	100.0	99.4	0.6	100.0	99.1	0.9	100.0	99.2	0.8	100.0	99.7	0.3	
勤めか自営かの別	100.0	98.2	1.8	100.0	98.9	1.1	100.0	98.4	1.6	100.0	98.2	1.8	

※ 調査区番号が不詳の調査票については、地域特性を特定できないため、集計対象から除いている

(4) 建物属性・世帯属性別の状況

建物属性別にみると、記入不備の割合は、オートロックマンション1棟でいくつかの調査区を構成している地域に居住する世帯員が1.9%と最も低く、次いで住宅の建て方が「共同住宅」でオートロックマンション以外の住宅に居住する世帯員(2.1%)となっている。

また、世帯属性別にみると、記入不備の割合は、左記以外の世帯の世帯員が2.2%と最も低く、次いでワンルームマンションなど単身者が居住する住宅の多い地域の単身世帯(2.5%)となっている。

建物属性、世帯員項目別記入不備率

(%)

	住宅の建て方が「一戸建」の住宅に居住する世帯			オートロックマンション1棟でいくつかの調査区を構成している地域に居住する世帯			住宅の建て方が「共同住宅」で左記のオートロックマンション以外の住宅に居住する世帯			住宅の建て方が「長屋建」または「その他」の住宅に居住する世帯			左記以外の世帯			
	総数	正記入	記入不備	総数	正記入	記入不備	総数	正記入	記入不備	総数	正記入	記入不備	総数	正記入	記入不備	
総数	100.0	97.5	2.5	100.0	98.1	1.9	100.0	97.9	2.1	100.0	95.5	4.5	100.0	95.5	4.5	
男女の別	100.0	99.9	0.1	100.0	99.9	0.1	100.0	99.9	0.1	100.0	100.0	0.0	100.0	99.9	0.1	
世帯主との続き柄	100.0	99.5	0.5	100.0	99.6	0.4	100.0	99.4	0.6	100.0	99.5	0.5	100.0	98.5	1.5	
出生の年月	元号・西暦	100.0	99.2	0.8	100.0	99.5	0.5	100.0	99.4	0.6	100.0	98.1	1.9	100.0	97.8	2.2
	年	100.0	98.3	1.7	100.0	98.7	1.3	100.0	98.1	1.9	100.0	97.9	2.1	100.0	87.8	12.2
月	100.0	99.0	1.0	100.0	99.4	0.6	100.0	98.7	1.3	100.0	99.0	1.0	100.0	96.7	3.3	
	100.0	96.8	3.2	100.0	98.0	2.0	100.0	97.7	2.3	100.0	92.8	7.2	100.0	93.2	6.8	
配偶の関係	100.0	99.5	0.5	100.0	99.6	0.4	100.0	99.6	0.4	100.0	98.3	1.7	100.0	97.5	2.5	
国籍(区分)	100.0	99.2	0.8	100.0	99.3	0.7	100.0	99.3	0.7	100.0	98.6	1.4	100.0	96.3	3.7	
現在の住居における居住期間	100.0	99.6	0.4	100.0	98.8	1.2	100.0	98.7	1.3	100.0	100.0	0.0	100.0	97.7	2.3	
5年前の住居の所在地(区分)	100.0	91.5	8.5	100.0	93.7	6.3	100.0	92.8	7.2	100.0	82.8	17.2	100.0	88.7	11.3	
在学、卒業等	100.0	91.3	8.7	100.0	93.5	6.5	100.0	92.7	7.3	100.0	83.1	16.9	100.0	89.0	11.0	
在学、卒業の別	100.0	95.6	4.4	100.0	96.9	3.1	100.0	97.3	2.7	100.0	93.1	6.9	100.0	94.5	5.5	
教育の状況	100.0	96.1	3.9	100.0	97.0	3.0	100.0	97.1	2.9	100.0	95.2	4.8	100.0	97.8	2.2	
学校区分	100.0	99.4	0.6	100.0	99.3	0.7	100.0	99.1	0.9	100.0	98.7	1.3	100.0	98.1	1.9	
就業状態	100.0	98.1	1.9	100.0	98.9	1.1	100.0	98.4	1.6	100.0	97.1	2.9	100.0	98.5	1.5	
就業地又は通学地(区分)	100.0	99.3	0.7	100.0	99.3	0.7	100.0	99.1	0.9	100.0	98.7	1.3	100.0	98.1	1.9	
利用交通手段	100.0	98.1	1.9	100.0	98.9	1.1	100.0	98.4	1.6	100.0	97.1	2.9	100.0	98.5	1.5	
勤めか自営かの別	100.0	98.1	1.9	100.0	98.9	1.1	100.0	98.4	1.6	100.0	97.1	2.9	100.0	98.5	1.5	

世帯属性、世帯員項目別記入不備率

(%)

	ワンルームマンションなど単身者が居住する住宅の多い地域の単身世帯			左記の地域以外の単身世帯			夫婦のみの世帯			左記以外の世帯			
	総数	正記入	記入不備	総数	正記入	記入不備	総数	正記入	記入不備	総数	正記入	記入不備	
総数	100.0	97.5	2.5	100.0	96.4	3.6	100.0	97.2	2.8	100.0	97.8	2.2	
男女の別	100.0	99.9	0.1	100.0	99.9	0.1	100.0	100.0	0.0	100.0	99.9	0.1	
世帯主との続き柄	100.0	99.3	0.7	100.0	99.0	1.0	100.0	100.0	0.0	100.0	99.4	0.6	
出生の年月	元号・西暦	100.0	99.6	0.4	100.0	99.6	0.4	100.0	99.2	0.8	100.0	99.1	0.9
	年	100.0	97.0	3.0	100.0	98.5	1.5	100.0	98.9	1.1	100.0	97.3	2.7
月	100.0	98.2	1.8	100.0	98.3	1.7	100.0	99.2	0.8	100.0	98.9	1.1	
配偶の関係	100.0	96.9	3.1	100.0	95.9	4.1	100.0	97.4	2.6	100.0	97.0	3.0	
国籍(区分)	100.0	99.4	0.6	100.0	99.4	0.6	100.0	99.6	0.4	100.0	99.3	0.7	
現在の住居における居住期間	100.0	99.2	0.8	100.0	99.0	1.0	100.0	99.3	0.7	100.0	99.0	1.0	
5年前の住居の所在地(区分)	100.0	98.6	1.4	100.0	99.1	0.9	100.0	99.5	0.5	100.0	99.0	1.0	
在学、卒業等	100.0	92.2	7.8	100.0	85.2	14.8	100.0	88.0	12.0	100.0	93.7	6.3	
在学、卒業の別	100.0	92.7	7.3	100.0	85.4	14.6	100.0	88.1	11.9	100.0	93.4	6.6	
教育の状況	100.0	96.4	3.6	100.0	93.2	6.8	100.0	94.5	5.5	100.0	96.8	3.2	
就業状態	100.0	97.4	2.6	100.0	97.2	2.8	100.0	97.5	2.5	100.0	96.3	3.7	
就業地又は通学地(区分)	100.0	98.4	1.6	100.0	99.4	0.6	100.0	99.6	0.4	100.0	99.2	0.8	
利用交通手段	100.0	97.0	3.0	100.0	98.0	2.0	100.0	98.0	2.0	100.0	98.6	1.4	
就業上の地位	100.0	97.0	3.0	100.0	98.0	2.0	100.0	98.0	2.0	100.0	98.6	1.4	

	(別掲) 学校の学生寮・寄宿舎の世帯			(別掲) 社会施設の世帯			(別掲) 外国人のみの世帯			
	総数	正記入	記入不備	総数	正記入	記入不備	総数	正記入	記入不備	
総数	100.0	97.3	2.7	100.0	88.3	11.7	100.0	94.7	5.3	
男女の別	100.0	99.9	0.1	100.0	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	
世帯主との続き柄	100.0	98.7	1.3	100.0	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	
出生の年月	元号・西暦	100.0	97.9	2.1	100.0	99.4	0.6	100.0	96.8	3.2
	年	100.0	85.3	14.7	100.0	99.4	0.6	100.0	95.8	4.2
月	100.0	96.8	3.2	100.0	99.4	0.6	100.0	94.7	5.3	
配偶の関係	100.0	95.6	4.4	100.0	92.3	7.7	100.0	94.7	5.3	
国籍(区分)	100.0	98.2	1.8	100.0	99.4	0.6	100.0	100.0	0.0	
現在の住居における居住期間	100.0	97.7	2.3	100.0	83.3	16.7	100.0	96.8	3.2	
5年前の住居の所在地(区分)	100.0	99.1	0.9	100.0	97.8	2.2	100.0	98.9	1.1	
在学、卒業等	100.0	98.2	1.8	100.0	28.0	72.0	100.0	75.8	24.2	
在学、卒業の別	100.0	98.3	1.7	100.0	28.0	72.0	100.0	87.4	12.6	
教育の状況	100.0	97.8	2.2	100.0	98.8	1.2	100.0	90.5	9.5	
就業状態	100.0	98.8	1.2	100.0	100.0	0.0	100.0	95.7	4.3	
就業地又は通学地(区分)	100.0	97.9	2.1	100.0	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	
利用交通手段	100.0	99.2	0.8	100.0	100.0	0.0	100.0	94.7	5.3	
就業上の地位	100.0	99.2	0.8	100.0	100.0	0.0	100.0	94.7	5.3	

(5) 記入漏れ項目数の状況

世帯員項目の記入漏れの項目数についてみると、記入漏れがない世帯員の割合が82.9%と最も多くなっており、次いで、記入漏れが1項目ある世帯員(8.5%)となっている。これを回収方法別にみても、同様の傾向となっている。

また、世帯員項目の記入漏れがない世帯員の割合は、記入漏れがある場合に送信できない仕様となっているオンライン回収を除き、持参回収が87.7%と最も高く、次いで郵送回収(83.4%)となっている。

調査票回収状況、記入漏れの状況別世帯員数(世帯員項目についてのみ)

		総数	0項目	1項目	2項目	3項目	4項目	5項目	6項目	7項目	8項目	9項目	10項目以上	
実数	総数	総数(注)	46,665	38,667	3,956	2,450	1,031	317	113	52	10	10	30	29
		郵送回収	28,746	23,983	2,414	1,506	589	174	38	19	1	6	4	12
		オンライン回収	1,111	1,111	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		調査員回収	15,593	12,634	1,441	922	404	116	38	13	6	1	8	10
		持参回収	203	178	16	3	4	2	0	0	0	0	0	0
	当初回収	総数	42,497	35,420	3,517	2,251	900	268	66	30	7	7	10	21
		郵送回収	26,351	22,092	2,145	1,373	514	155	32	18	1	6	4	11
		オンライン回収	1,111	1,111	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		調査員回収	14,857	12,060	1,358	876	383	111	34	12	6	1	6	10
		持参回収	178	157	14	2	3	2	0	0	0	0	0	0
	フ ォ ァ ッ プ 回 収	総数	3,156	2,486	354	180	97	24	10	2	0	0	2	1
		郵送回収	2,395	1,891	269	133	75	19	6	1	0	0	0	1
		調査員回収	736	574	83	46	21	5	4	1	0	0	2	0
持参回収		25	21	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	
構成比(%)	総数	総数	100.0	82.9	8.5	5.3	2.2	0.7	0.2	0.1	0.0	0.0	0.1	0.1
		郵送回収	100.0	83.4	8.4	5.2	2.0	0.6	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0
		オンライン回収	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		調査員回収	100.0	81.0	9.2	5.9	2.6	0.7	0.2	0.1	0.0	0.0	0.1	0.1
		持参回収	100.0	87.7	7.9	1.5	2.0	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	当初回収	総数	100.0	83.3	8.3	5.3	2.1	0.6	0.2	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0
		郵送回収	100.0	83.8	8.1	5.2	2.0	0.6	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0
		オンライン回収	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		調査員回収	100.0	81.2	9.1	5.9	2.6	0.7	0.2	0.1	0.0	0.0	0.0	0.1
		持参回収	100.0	88.2	7.9	1.1	1.7	1.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	フ ォ ァ ッ プ 回 収	総数	100.0	78.8	11.2	5.7	3.1	0.8	0.3	0.1	0.0	0.0	0.1	0.0
		郵送回収	100.0	79.0	11.2	5.6	3.1	0.8	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		調査員回収	100.0	78.0	11.3	6.3	2.9	0.7	0.5	0.1	0.0	0.0	0.3	0.0
持参回収		100.0	84.0	8.0	4.0	4.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

(注) 回収時期及び回収方法の不詳を含む

年齢階級別にみると、おおむね年齢階級が高いほど、記入漏れがある世帯員の割合が多くなっている。

年齢階級、記入漏れの状況別世帯員数（世帯員項目についてのみ）

		総数	0項目	1項目	2項目	3項目	4項目	5項目	6項目	7項目	8項目	9項目	10項目以上
実数	総数	46,665	38,667	3,956	2,450	1,031	317	113	52	10	10	30	29
	15歳未満	5,769	5,086	576	57	37	11	1	0	0	1	0	0
	15～19歳	3,632	3,215	360	38	9	4	3	3	0	0	0	0
	20～24歳	2,903	2,518	253	76	30	14	5	7	0	0	0	0
	25～29歳	1,900	1,614	167	76	19	9	12	3	0	0	0	0
	30～34歳	2,465	2,084	191	136	33	11	9	0	1	0	0	0
	35～39歳	2,978	2,593	169	154	43	16	3	0	0	0	0	0
	40～44歳	3,178	2,759	190	152	55	11	8	1	2	0	0	0
	45～49歳	2,826	2,528	154	101	27	8	3	4	1	0	0	0
	50～54歳	2,738	2,343	172	165	44	12	2	0	0	0	0	0
	55～59歳	2,806	2,297	202	216	68	17	4	2	0	0	0	0
	60～64歳	2,753	2,189	227	212	84	34	6	1	0	0	0	0
	65～69歳	2,412	1,825	215	225	103	32	9	3	0	0	0	0
	70～74歳	2,023	1,584	168	148	95	20	7	1	0	0	0	0
	75～79歳	1,598	1,238	101	119	102	28	5	5	0	0	0	0
	80～84歳	1,119	808	101	115	66	24	4	1	0	0	0	0
85歳以上	856	578	83	127	57	10	1	0	0	0	0	0	
無記入・不詳	4,709	3,408	627	333	159	56	31	21	6	9	30	29	
構成比(%)	総数	100.0	82.9	8.5	5.3	2.2	0.7	0.2	0.1	0.0	0.0	0.1	0.1
	15歳未満	100.0	88.2	10.0	1.0	0.6	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	15～19歳	100.0	88.5	9.9	1.0	0.2	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0
	20～24歳	100.0	86.7	8.7	2.6	1.0	0.5	0.2	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0
	25～29歳	100.0	84.9	8.8	4.0	1.0	0.5	0.6	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0
	30～34歳	100.0	84.5	7.7	5.5	1.3	0.4	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	35～39歳	100.0	87.1	5.7	5.2	1.4	0.5	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	40～44歳	100.0	86.8	6.0	4.8	1.7	0.3	0.3	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0
	45～49歳	100.0	89.5	5.4	3.6	1.0	0.3	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0
	50～54歳	100.0	85.6	6.3	6.0	1.6	0.4	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	55～59歳	100.0	81.9	7.2	7.7	2.4	0.6	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0
	60～64歳	100.0	79.5	8.2	7.7	3.1	1.2	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	65～69歳	100.0	75.7	8.9	9.3	4.3	1.3	0.4	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0
	70～74歳	100.0	78.3	8.3	7.3	4.7	1.0	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	75～79歳	100.0	77.5	6.3	7.4	6.4	1.8	0.3	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	80～84歳	100.0	72.2	9.0	10.3	5.9	2.1	0.4	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0
85歳以上	100.0	67.5	9.7	14.8	6.7	1.2	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
無記入・不詳	100.0	72.4	13.3	7.1	3.4	1.2	0.7	0.4	0.1	0.2	0.6	0.6	

世帯属性別にみると、上記以外の単身世帯、夫婦のみの世帯及び社会施設の世帯で記入漏れが2項目ある世帯員の割合が多くなっている。

建物属性・世帯属性、記入漏れの状況別世帯員数（世帯員項目についてのみ）

		総数	0項目	1項目	2項目	3項目	4項目	5項目	6項目	7項目	8項目	9項目	10項目以上	
実数	建物属性	総数	46,665	38,667	3,956	2,450	1,031	317	113	52	10	10	30	29
		住宅の建て方が「一戸建」の住宅に居住する世帯	23,216	18,929	2,109	1,363	594	148	32	18	4	3	5	11
		オートロックマンション1棟でいくつかの調査区を構成している地域に居住する世帯	10,782	9,262	832	433	165	57	16	6	4	3	2	2
		住宅の建て方が「共同住宅」で上記のオートロックマンション以外の共同住宅に居住する世帯	9,077	7,656	722	464	149	52	22	2	1	1	2	6
		住宅の建て方が「長屋建」または「その他」の世帯	419	306	36	31	32	12	2	0	0	0	0	0
		上記以外の世帯	3,171	2,514	257	159	91	48	41	26	1	3	21	10
	世帯属性	総数	46,665	38,667	3,956	2,450	1,031	317	113	52	10	10	30	29
		ワンルームマンションなど単身者が居住する住宅の多い地域の単身世帯	2,504	2,116	180	109	53	15	23	2	1	2	1	2
		上記以外の単身世帯	3,646	2,810	281	301	164	58	20	4	2	2	3	1
		夫婦のみの世帯	7,498	6,011	547	606	254	71	7	0	2	0	0	0
	上記以外の世帯	33,017	27,730	2,948	1,434	560	173	63	46	5	6	26	26	
	(別掲) 学校の学生寮・寄宿舎の世帯	2,536	2,263	192	15	10	13	6	19	1	2	12	3	
	(別掲) 社会施設の世帯	168	42	5	83	36	1	0	0	0	0	1	0	
	(別掲) 外国人のみの世帯	95	64	14	9	3	2	2	0	0	1	0	0	
構成比(%)	建物属性	総数	100.0	82.9	8.5	5.3	2.2	0.7	0.2	0.1	0.0	0.0	0.1	0.1
		住宅の建て方が「一戸建」の住宅に居住する世帯	100.0	81.5	9.1	5.9	2.6	0.6	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0
		オートロックマンション1棟でいくつかの調査区を構成している地域に居住する世帯	100.0	85.9	7.7	4.0	1.5	0.5	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0
		住宅の建て方が「共同住宅」で上記のオートロックマンション以外の共同住宅に居住する世帯	100.0	84.3	8.0	5.1	1.6	0.6	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1
		住宅の建て方が「長屋建」または「その他」の世帯	100.0	73.0	8.6	7.4	7.6	2.9	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		上記以外の世帯	100.0	79.3	8.1	5.0	2.9	1.5	1.3	0.8	0.0	0.1	0.7	0.3
	世帯属性	総数	100.0	82.9	8.5	5.3	2.2	0.7	0.2	0.1	0.0	0.0	0.1	0.1
		ワンルームマンションなど単身者が居住する住宅の多い地域の単身世帯	100.0	84.5	7.2	4.4	2.1	0.6	0.9	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1
		上記以外の単身世帯	100.0	77.1	7.7	8.3	4.5	1.6	0.5	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0
		夫婦のみの世帯	100.0	80.2	7.3	8.1	3.4	0.9	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	上記以外の世帯	100.0	84.0	8.9	4.3	1.7	0.5	0.2	0.1	0.0	0.0	0.1	0.1	
	(別掲) 学校の学生寮・寄宿舎の世帯	100.0	89.2	7.6	0.6	0.4	0.5	0.2	0.7	0.0	0.1	0.5	0.1	
	(別掲) 社会施設の世帯	100.0	25.0	3.0	49.4	21.4	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6	0.0	
	(別掲) 外国人のみの世帯	100.0	67.4	14.7	9.5	3.2	2.1	2.1	0.0	0.0	1.1	0.0	0.0	

3 世帯項目の記入状況

(1) 全体の状況

世帯項目全体での記入不備の割合は1.9%であり、記入不備の内容としては記入漏れの割合が最も高くなっている。

記入不備率 (%)

	総数	正記入	記入不備					
			総数	記入漏れ	記入誤り	ダブルマーク	右づめ誤り	規定コード以外
総数	100.0	98.1	1.9	1.7	0.1	0.0	0.0	0.0

(2) 世帯項目別の状況

世帯項目別にみると、記入不備の割合は、調査項目ではない「電話番号」(17.5%)を除き、住宅の床面積の合計(6.4%)が最も高くなっている。

世帯項目別記入不備率 (%)

	総数	正記入	記入不備						
			総数	記入漏れ	記入誤り	ダブルマーク	右づめ誤り	規定コード以外	
総数	100.0	98.1	1.9	1.7	0.1	0.0	0.0	0.0	
世帯員の数	100.0	98.8	1.2	0.4	0.7	-	0.1	0.0	
住居の種類	100.0	98.3	1.7	1.7	-	0.0	-	-	
住宅の建て方	100.0	98.7	1.3	1.3	-	0.0	-	-	
うち共同 住宅	建物全体の階数	100.0	99.7	0.3	0.2	-	-	0.0	0.0
	住宅のある階数	100.0	99.5	0.5	0.5	-	-	0.0	0.0
住宅の床面積の合計	100.0	93.6	6.4	6.2	-	0.1	-	-	
別掲(電話番号)	100.0	82.5	17.5	17.5	-	-	-	-	

(3) 調査票提出の周知方法別の状況

調査票提出の周知方法別にみると、記入不備の割合は、差異はなかった。

調査票提出の周知方法、世帯項目別記入不備率

(%)

	郵送回収を強調			調査員回収を強調			回収方法を強調していない			郵送回収及びオンライン回収を強調		
	総数	正記入	記入不備	総数	正記入	記入不備	総数	正記入	記入不備	総数	正記入	記入不備
総 数	100.0	98.1	1.9	100.0	98.6	1.4	100.0	98.1	1.9	100.0	98.1	1.9
世帯員の数	100.0	98.8	1.2	100.0	98.6	1.4	100.0	98.8	1.2	100.0	99.7	0.3
住居の種類	100.0	98.4	1.6	100.0	98.0	2.0	100.0	98.3	1.7	100.0	97.9	2.1
住宅の建て方	100.0	98.4	1.6	100.0	99.3	0.7	100.0	98.8	1.2	100.0	97.3	2.7
共同住宅 } 建物全体の階数	100.0	98.4	1.6	100.0	99.9	0.1	100.0	99.8	0.2	100.0	100.0	0.0
	100.0	99.7	0.3	100.0	99.7	0.3	100.0	99.5	0.5	100.0	99.7	0.3
住宅の床面積の合計	100.0	99.7	0.3	100.0	99.9	0.1	100.0	99.8	0.2	100.0	100.0	0.0
別掲（電話番号）	100.0	99.3	0.7	100.0	99.7	0.3	100.0	99.5	0.5	100.0	99.7	0.3

※ 調査区番号が不詳の調査票については、地域特性を特定できないため、集計対象から除いている

(4) 建物属性・世帯属性別の状況

建物属性別にみると、記入不備の割合は、住宅の建て方が「一戸建」の住宅に居住する世帯が1.2%と最も低く、次いでオートロックマンション1棟でいくつかの調査区を構成している地域に居住する世帯(1.3%)となっている。

また、世帯属性別にみると、記入不備の割合は、夫婦のみの世帯が1.2%と最も低く、次いで左記以外の世帯(1.6%)となっている。

建物属性、世帯項目別記入不備率

(%)

	住宅の建て方が「一戸建」の住宅に居住する世帯			オートロックマンション1棟でいくつかの調査区を構成している地域に居住する世帯			住宅の建て方が「共同住宅」で左記のオートロックマンション以外の住宅に居住する世帯			住宅の建て方が「長屋建」または「その他」の住宅に居住する世帯			左記以外の世帯		
	総数	正記入	記入不備	総数	正記入	記入不備	総数	正記入	記入不備	総数	正記入	記入不備	総数	正記入	記入不備
総数	100.0	98.8	1.2	100.0	98.7	1.3	100.0	97.8	2.2	100.0	97.8	2.2	100.0	82.9	17.1
世帯員の数	100.0	98.9	1.1	100.0	98.8	1.2	100.0	98.9	1.1	100.0	98.9	1.1	100.0	96.2	3.8
住居の種類	100.0	99.2	0.8	100.0	98.3	1.7	100.0	98.6	1.4	100.0	98.6	1.4	100.0	74.8	25.2
住宅の建て方	100.0	100.0	0.0	100.0	99.0	1.0	100.0	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	100.0	56.5	43.5
共同住宅 建物全体の階数	100.0	100.0	0.0	100.0	99.8	0.2	100.0	99.3	0.7	100.0	99.3	0.7	100.0	100.0	0.0
共同住宅 住宅のある階数	100.0	100.0	0.0	100.0	99.4	0.6	100.0	98.6	1.4	100.0	98.6	1.4	100.0	100.0	0.0
住宅の床面積の合計	100.0	94.7	5.3	100.0	96.6	3.4	100.0	91.4	8.6	100.0	91.4	8.6	100.0	73.7	26.3
別掲(電話番号)	100.0	88.2	11.8	100.0	85.7	14.3	100.0	74.4	25.6	100.0	74.4	25.6	100.0	42.8	57.2

世帯属性、世帯項目別記入不備率

(%)

	ワンルームマンションなど単身者が居住する住宅の多い地域の単身世帯			左記の地域以外の単身世帯			夫婦のみの世帯			左記以外の世帯		
	総数	正記入	記入不備	総数	正記入	記入不備	総数	正記入	記入不備	総数	正記入	記入不備
総数	100.0	96.8	3.2	100.0	97.5	2.5	100.0	98.8	1.2	100.0	98.4	1.6
世帯員の数	100.0	99.0	1.0	100.0	98.6	1.4	100.0	99.2	0.8	100.0	98.7	1.3
住居の種類	100.0	97.3	2.7	100.0	96.9	3.1	100.0	98.9	1.1	100.0	98.9	1.1
住宅の建て方	100.0	97.4	2.6	100.0	97.8	2.2	100.0	99.2	0.8	100.0	99.2	0.8
共同住宅 建物全体の階数	100.0	99.3	0.7	100.0	99.7	0.3	100.0	99.9	0.1	100.0	99.8	0.2
共同住宅 住宅のある階数	100.0	98.3	1.7	100.0	99.4	0.6	100.0	99.7	0.3	100.0	99.7	0.3
住宅の床面積の合計	100.0	89.6	10.4	100.0	92.7	7.3	100.0	95.8	4.2	100.0	94.2	5.8
別掲(電話番号)	100.0	68.5	31.5	100.0	77.8	22.2	100.0	86.8	13.2	100.0	86.6	13.4

	(別掲) 学校の学生寮・寄宿舎の世帯			(別掲) 社会施設の世帯			(別掲) 外国人のみの世帯		
	総数	正記入	記入不備	総数	正記入	記入不備	総数	正記入	記入不備
総数	100.0	98.3	1.7	100.0	100.0	0.0	100.0	96.3	3.7
世帯員の数	100.0	90.6	9.4	100.0	100.0	0.0	100.0	97.6	2.4
住居の種類	100.0	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	100.0	97.6	2.4
住宅の建て方	100.0	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	100.0	97.5	2.5
共同住宅 建物全体の階数	100.0	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0
共同住宅 住宅のある階数	100.0	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	100.0	98.7	1.3
住宅の床面積の合計	100.0	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	100.0	86.6	13.4
別掲(電話番号)	100.0	43.4	56.6	100.0	50.0	50.0	100.0	62.2	37.8

4 「5年前の住居の所在地」の記入状況

(1) 「5年前の住居の所在地」の区分の記入状況

国勢調査では、政令指定都市に居住する者の「区」間の移動を正確に把握するため、これまで大都市用と一般地域用の2種類の調査票を用いている。

調査票の統合（経費の合理化）を図る観点から、【参考】に示す選択肢であっても、政令指定都市の「区」間の移動を正確に把握することができるかについて最終検証したところ、51市区全体で97.2%、51市区のうち18政令指定都市では97.0%が正確に記入されている。また、無記入・ダブルマークを除くと、51市区全体で98.0%、51市区のうち18政令指定都市では98.2%が正確に記入されている。

「5年前の住居の所在地」の区分の照合状況別件数

正しい区分		総数	現在と同じ場所	同じ区・市町村内の他の場所	他の区・市町村	外国	無記入・不詳
世帯記入	総数	13,994	314	4,782	8,466	241	191
実数	現在と同じ場所	317	305	8	1	0	3
	同じ区・市町村内の他の場所	4,703	0	4,587	116	0	0
	他の区・市町村	8,425	0	142	8,282	0	1
	外国	242	0	0	1	241	0
	無記入・ダブルマーク	307	91	45	66	0	187
一致率 (%)	-	97.1	95.9	97.8	100.0	-	

全体では一致率97.2%（無記入・ダブルマークを除くと98.0%）

正しい区分		総数	現在と同じ場所	同じ区・市町村内の他の場所	他の区・市町村	外国	無記入・不詳
世帯記入	政令指定都市	4,560	88	1,161	3,095	126	90
実数	現在と同じ場所	87	84	1	0	0	2
	同じ区・市町村内の他の場所	1,218	0	1,145	73	0	0
	他の区・市町村	2,987	0	6	2,981	0	0
	外国	127	0	0	1	126	0
	無記入・ダブルマーク	141	4	9	40	0	88
一致率 (%)	-	95.5	98.6	96.3	100.0	-	

全体では一致率97.0%（無記入・ダブルマークを除くと98.2%）

【参考】

平成12年国勢調査調査票（大都市用）

7 5年前(平成7年10月1日)にはどこに住んでいましたか

・平成7年10月1日以後に生まれた人及び現在の場所に5年以上住んでいる人については記入する必要はありません

・他の区・市町村の場合は その都道府県・市区町村名(13大都市の場合は区名まで)も書いてください

・13大都市とは 東京都区部と札幌・仙台・千葉・横浜・川崎・名古屋・京都・大阪・神戸・広島・北九州・福岡の各市をいいます

現在と同じ場所 ○

同じ区内の他の場所 ○

他の区・市町村 ○

外国 ○

(所在地を記入)

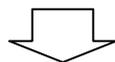
都道府県

市郡支庁

区町村

○「大都市用調査票」の選択肢
⇒「現在と同じ場所」、
「同じ区内の他の場所」、
「他の区・市町村」、「外国」

○「一般地域用調査票」の選択肢
⇒「現在と同じ場所」、
「同じ市町村内の他の場所」、
「他の市区町村」、「外国」



平成22年国勢調査第3次試験調査調査票

7 5年前(平成16年6月12日)にはどこに住んでいましたか

・現在の場所に「出生時から」又は5年以上住んでいる人については記入する必要はありません

・5年前に同じ市内の他の区に住んでいた場合は、他の区・市町村に記入してください

・同じ区・市町村内の他の場所又は他の区・市町村の場合は その都道府県・市区町村名(東京都区部と政令指定都市の場合は区名まで)も書いてください

・平成16年6月12日以後に生まれた人については生まれた場所(ふだん母親が住んでいた場所)を記入してください

現在と同じ場所 ○

同じ区・市町村内の他の場所 ○

他の区・市町村 ○

外国 ○

(所在地を左づめて記入)

都道府県

市郡支庁

区町村

(2) 文字認識による市区町村コードの一致状況

「5年前の住居の所在地」について、調査票に記入された文字をOCR機で読み取り、コンピュータで市区町村コードの符号付けを行った結果、正しく符号付けされた割合は90.7%、誤って符号付けされた割合は0.3%、符号付けができなかった割合は9.0%となっている。

「5年前の住居の所在地」の市区町村コード符号の一致状況別件数

	総数	市区町村コードの自動符号可		市区町村コードの符号不可	
		総数	正しい符号		誤りの符号
総数	14,129	12,861	12,813	48	1,268
構成比 (%)	100.0	91.0	90.7	0.3	9.0

5 「従業地又は通学地」の記入状況

(1) 「従業地又は通学地」の区分の記入状況

「従業地又は通学地」についても、「5年前の住居の所在地」と同様に、政令指定都市の「区」間の移動を正確に把握することができるかについて検証したところ、51市区全体で95.0%、51市区のうち18政令指定都市では94.1%が正確に記入されている。また、無記入・ダブルマークを除くと、51市区全体で97.6%、51市区のうち18政令指定都市では96.9%が正確に記入されている。

「従業地又は通学地」の区分の照合状況別件数

世帯記入		正しい区分	総数	自宅	同じ区・市町村	他の区・市町村	無記入・不詳
実数	総数	-----	28,330	1,381	18,444	7,773	732
	自宅	-----	1,415	1,371	34	4	6
	同じ区・市町村	-----	17,956	1	17,645	305	5
	他の区・市町村	-----	7,528	2	309	7,212	5
	無記入・ダブルマーク	-----	1,431	7	456	252	716
一致率 (%)		-----	-	99.3	95.7	92.8	-

全体では一致率95.0%（無記入・ダブルマークを除くと97.6%）

世帯記入		正しい区分	総数	自宅	同じ区・市町村	他の区・市町村	無記入・不詳
実数	政令指定都市	-----	10,112	549	4,251	5,019	293
	自宅	-----	558	544	12	2	0
	同じ区・市町村	-----	4,383	1	4,118	262	2
	他の区・市町村	-----	4,601	2	20	4,577	2
	無記入・ダブルマーク	-----	570	2	101	178	289
一致率 (%)		-----	-	99.1	96.9	91.2	-

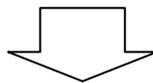
全体では一致率94.1%（無記入・ダブルマークを除くと96.9%）

【参考】

平成17年国勢調査調査票（大都市用）

11 従業地又は通学地 <ul style="list-style-type: none"> 仕事も通学もしている人は、仕事している場所について記入してください 他の区・市町村の場合は、その都道府県・市区町村名(13大都市の場合は区名まで)も書いてください 13大都市とは、東京都区部と札幌・仙台・千葉・横浜・川崎・名古屋・京都・大阪・神戸・広島・北九州・福岡の各市をいいます 	自宅(住み込みをきむ) 12欄へ 同じ区・市町村 12欄へ 他の区・市町村 (所在地を記入) 12欄へ 都道府県 市部支庁 区町村
---	--

○「大都市用調査票」の選択肢 ⇒「自宅」、「同じ区」、「他の区・市町村」 ○「一般地域用調査票」の選択肢 ⇒「自宅」、「同じ市町村」、「他の市区町村」
--



平成22年国勢調査第3次試験調査調査票

10 従業地又は通学地 <ul style="list-style-type: none"> 同じ市内の他の区に通勤・通学している場合は、他の区・市町村に記入してください 同じ区・市町村 又は 他の区・市町村の場合は、その都道府県・市区町村名(東京都区部と政令指定都市の場合は区名まで)も書いてください 仕事も通学もしている人は、仕事している場所について記入してください 	自宅(住み込みをきむ) 12欄へ 同じ区・市町村 (所在地を左づめて記入) 12欄へ 他の区・市町村 都道府県 市部支庁 区町村
--	---

(2) 漢字認識による市区町村コードの一致状況

「従業地又は通学地」の所在地についても、「5年前の住居の所在地」と同様に、調査票の記入内容に基づき、コンピュータで市区町村コードの符号付けを行った結果、正しく符号付けされた割合は90.4%、誤って符号付けされた割合は0.5%、符号付けができなかった割合は9.1%となっている。

「従業地又は通学地」の市区町村コード符号の一致状況別件数

	総数	市区町村コードの自動符号可			市区町村 コードの 符号不可
		総数	正しい符号	誤りの符号	
総数	27,520	25,021	24,890	131	2,499
構成比 (%)	100.0	90.9	90.4	0.5	9.1

Ⅲ 記録表の取りまとめ結果

第1 調査員記録表

1 調査員の基本属性について

調査員は408人で、男女別にみると男性が121人（29.7%）、女性が287人（70.3%）となっている。

また、年齢階級別にみると、60歳代が最も多く158人（38.7%）、次いで50歳代が90人（22.1%）となっている。国勢調査調査員経験回数別にみると、経験なしが188人（46.1%）、経験ありが220人（53.9%）となっており、経験ありの中では1回が最も多く108人（26.5%）となっている。

表1 調査員の基本属性

		実数	構成比 (%)
総数		408	100.0
性別	男	121	29.7
	女	287	70.3
年齢階級	29歳以下	8	2.0
	30歳代	29	7.1
	40歳代	65	15.9
	50歳代	90	22.1
	60歳代	158	38.7
	70歳以上	58	14.2
国勢調査経験	国勢調査員の経験あり	220	53.9
	1回	108	26.5
	2回	51	12.5
	3回	26	6.4
	4回	13	3.2
	5回以上	22	5.4
	国勢調査員の経験なし	188	46.1

2 担当地域について

(1) 担当地域の認知度

調査員の担当地域の地理的な認知度については、「よく知っていた」の割合が高くなっている。

これを地域特性別にみると、「よく知っていた」の割合は、調査困難地域のほうが一般地域と比較して高くなっている。

表 2-1 調査員の担当地域の認知度

	調査区数	構成比 (%)				
		よく知っていた	多少知っていた	ほとんど知らなかった	不詳	
総数	510	46.7	36.1	14.5	2.7	
地域特性	調査困難地域	255	52.5	31.4	12.2	3.9
	オートロックマンション	102	56.9	31.4	7.8	3.9
	単身者が居住する住宅の多い地域	104	41.3	37.5	18.3	2.9
	学校の学生寮・寄宿舎または社会施設がある地域	49	67.3	18.4	8.2	6.1
	一般地域	255	40.8	40.8	16.9	1.6
	一戸建の多い地域	153	40.5	34.6	23.5	1.3
	共同住宅の多い地域	102	41.2	50.0	6.9	2.0

(2) 担当世帯の認知度

調査員の担当地域の世帯の認知度については、「ほとんど知らなかった」の割合が高くなっている。

これを地域特性別にみると、同様の傾向となっているが、「学校の学生寮・寄宿舎または社会施設がある地域」の「よく知っていた」の割合が他の地域特性と比較して高くなっている。

表 2-2 調査員の担当世帯の認知度

	調査区数	構成比 (%)				
		よく知っていた	多少知っていた	ほとんど知らなかった	不詳	
総数	510	8.8	21.6	65.7	3.9	
地域特性	調査困難地域	255	11.0	16.5	67.1	5.5
	オートロックマンション	102	4.9	13.7	77.5	3.9
	単身者が居住する住宅の多い地域	104	6.7	16.3	71.2	5.8
	学校の学生寮・寄宿舎または社会施設がある地域	49	32.7	22.4	36.7	8.2
	一般地域	255	6.7	26.7	64.3	2.4
	一戸建の多い地域	153	7.8	26.1	63.4	2.6
	共同住宅の多い地域	102	4.9	27.5	65.7	2.0

3 世帯訪問の状況（当初回収時）

平成22年国勢調査第3次試験調査は、調査票の当初回収期間を「回収期間短縮型」（6月12日（金）～18日（木））と「回収期間従来型」（6月12日（金）～22日（月））の2通りで調査を行った。土・日曜日を2回含む当初回収期間とすることによる、回収状況について分析を行った。

なお、「回収期間短縮型」は政令指定都市（東京都特別区を含む）、「回収期間従来型」は政令指定都市以外の県庁所在地において実施しており、分析に当たっては、それぞれの地域の調査票集計の回収率や地域特性等に留意する必要がある。

(1) 1世帯当たりの平均訪問回数

調査員の1世帯当たりの平均訪問回数をみると、2.5回となっている。

これを当初回収期間別にみると、当初回収期間における1世帯当たりの平均訪問回数に差異はないが、地域特性別にみると、「ワンルームマンションなど単身者が居住する住宅の多い地域」で当初回収期間従来型のほうが1世帯当たりの平均訪問回数が多くなっている。

表3-1 調査員の世帯訪問回数

	世帯数	訪問回数別割合 (%)					(別掲) 1世帯 当たり 平均訪 問回数		
		1回	2回	3回	4回	5回 以上			
総 数	12,675	47.5	17.0	14.9	8.4	12.1	2.5		
当初回収期間短縮型	総 数	4,025	45.7	16.7	17.1	10.0	10.4	2.4	
	地域特性	調査困難地域	1,744	34.9	17.8	20.2	13.9	13.2	2.9
		オートロックマンション	781	40.6	18.1	16.1	10.4	14.9	2.9
		単身者の多い地域	963	30.3	17.5	23.5	16.8	11.8	2.9
		一般地域	2,226	54.0	16.1	14.9	7.2	7.9	2.0
		一戸建の多い地域	1,366	64.4	19.8	8.3	4.2	3.2	1.6
		その他の共同住宅の地域	860	37.3	10.1	25.3	12.0	15.2	2.7
	学生寮など施設等の世帯を含む地域	55	56.4	10.9	9.1	1.8	21.8	3.1	
	周知	郵送回収を強調	1,444	52.5	20.5	13.6	6.2	7.1	2.0
		調査員回収を強調	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0
強調しなかった		2,265	37.9	14.7	21.3	13.2	13.0	2.8	
	複数の回収方法を強調	315	71.1	14.3	3.2	5.1	6.3	1.7	
総 数	8,650	48.4	17.1	13.9	7.7	13.0	2.5		
当初回収期間従来型	地域特性	調査困難地域	2,853	39.5	17.9	15.7	7.5	19.4	3.2
		オートロックマンション	1,383	45.8	21.8	15.6	6.9	9.8	2.4
		単身者の多い地域	1,470	33.5	14.3	15.8	8.0	28.4	4.1
		一般地域	5,497	51.8	17.0	13.2	7.8	10.1	2.2
		一戸建の多い地域	3,396	57.7	20.0	12.1	5.5	4.8	1.9
		その他の共同住宅の地域	2,101	42.3	12.1	15.1	11.7	18.8	2.8
	学生寮など施設等の世帯を含む地域	300	70.3	10.0	9.7	6.3	3.7	1.8	
	周知	郵送回収を強調	956	50.3	15.6	15.2	7.0	11.9	2.3
		調査員回収を強調	835	45.1	20.2	12.3	8.7	13.5	2.8
		強調しなかった	6,859	48.5	16.9	13.9	7.6	13.0	2.6
	複数の回収方法を強調	0	-	-	-	-	-	-	

(2) 調査員の世帯訪問回数別面接状況

世帯に面接できた割合をみると77.1%となっている。

これを当初回収期間別にみると、当初回収期間従来型で面接できた世帯の割合(78.9%)が高くなっている。これは、当初回収期間従来型の訪問回数別面接できた世帯の割合の「5回以上」(6.4%)が当初回収期間従来型(2.6%)に比べて高いことによる。

また、地域特性別にみると、「オートロックマンション1棟でいくつかの調査区を構成している地域」を除き、当初回収期間従来型で面接できた世帯の割合が高くなっている。

表3-2 調査員の世帯訪問回数別面接状況

	世帯数	うち 面接できた 割合(%)	訪問回数別割合(%)										
			訪問回数別面接できた割合(%)					(別掲) 訪問回数別面接できた累計(%)					
			1回	2回	3回	4回	5回以上	1回	2回	3回	4回	5回以上	
総数	12,675	77.1	44.2	14.2	9.1	4.4	5.2	57.4	75.8	87.6	93.3	100.0	
当初回収期間短縮型	4,025	73.1	43.3	14.8	8.3	4.1	2.6	59.2	79.4	90.8	96.4	100.0	
地域特性	調査困難地域	1,744	64.8	32.3	14.2	9.6	4.9	3.7	49.9	71.9	86.7	94.3	100.0
	オートロックマンション	781	78.9	40.3	17.3	10.5	6.3	4.5	51.1	73.1	86.4	94.3	100.0
	単身者の多い地域	963	53.4	25.9	11.7	8.9	3.8	3.0	48.4	70.4	87.2	94.4	100.0
	一般地域	2,226	79.4	51.6	15.4	7.3	3.5	1.7	65.0	84.3	93.5	97.9	100.0
	一戸建の多い地域	1,366	90.8	61.1	18.7	6.8	2.6	1.7	67.2	87.8	95.3	98.1	100.0
	その他の共同住宅の地域	860	61.2	36.5	10.0	8.0	5.0	1.6	59.7	76.0	89.2	97.3	100.0
	学生寮など施設等の世帯を含む地域	55	85.5	56.4	10.9	9.1	1.8	7.3	66.0	78.7	89.4	91.5	100.0
周知	郵送回収を強調	1,444	77.2	49.3	15.8	8.2	2.1	1.8	63.9	84.3	95.0	97.7	100.0
	調査員回収を強調	1	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	強調しなかった	2,265	67.9	35.7	14.3	9.2	5.3	3.4	52.6	73.7	87.3	95.0	100.0
	複数の回収方法を強調	315	92.1	70.2	14.0	2.2	5.1	0.6	76.2	91.4	93.8	99.3	100.0
当初回収期間従来型	総数	8,650	78.9	44.7	13.9	9.4	4.5	6.4	56.6	74.2	86.2	91.9	100.0
地域特性	調査困難地域	2,853	66.5	35.2	11.5	8.1	3.7	8.0	52.9	70.2	82.4	88.0	100.0
	オートロックマンション	1,383	74.7	39.9	15.5	9.8	4.8	4.8	53.4	74.2	87.2	93.6	100.0
	単身者の多い地域	1,470	58.8	30.7	7.8	6.5	2.7	11.0	52.3	65.5	76.6	81.3	100.0
	一般地域	5,497	84.7	48.3	15.5	10.2	4.9	5.8	57.0	75.3	87.3	93.1	100.0
	一戸建の多い地域	3,396	93.1	55.2	19.0	10.7	4.7	3.6	59.3	79.7	91.2	96.2	100.0
	その他の共同住宅の地域	2,101	71.1	37.1	9.9	9.2	5.4	9.5	52.1	66.1	79.0	86.7	100.0
	学生寮など施設等の世帯を含む地域	300	91.0	69.3	7.3	8.3	4.0	2.0	76.2	84.2	93.4	97.8	100.0
周知	郵送回収を強調	956	77.1	47.2	9.2	10.9	4.6	5.2	61.2	73.1	87.2	93.2	100.0
	調査員回収を強調	835	93.8	44.9	19.9	11.5	8.6	8.9	47.9	69.1	81.4	90.5	100.0
	強調しなかった	6,859	77.4	44.3	13.8	9.0	4.0	6.3	57.3	75.2	86.7	91.9	100.0
	複数の回収方法を強調	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(3) 調査員の世帯訪問回数別回収状況

調査票を回収できた世帯の割合をみると36.3%となっている。

これを、調査票を回収できた世帯の割合を当初回収期間別にみると、当初回収期間短縮型は23.7%、当初回収期間従来型は42.2%と大きく異なっている。しかし、これは調査員が調査票を回収できた割合であり、郵送等により回収できた世帯があることに留意する必要がある。実際に、4ページ(調査票の回収状況)の当初の回収期間に調査票を回収した世帯の割合をみると、当初回収期間短縮型(政令指定都市(東京都特別区を含む))は73.8%、当初回収期間従来型(政令指定都市以外の県庁所在地)は77.7%となっており、当初回収全体の回収率にあまり差異はない。

また、訪問回数別、地域特性別や調査票提出の周知方法別にみても、当初回収期間従来型は、調査票を回収できた世帯の割合が高くなっている。

表3-3 調査員の世帯訪問回数別回収状況

	世帯数	うち回収できた割合 (%)	訪問回数別割合 (%)									
			訪問回数別回収できた割合 (%)					(別掲) 訪問回数別回収できた累計 (%)				
			1回	2回	3回	4回	5回以上	1回	2回	3回	4回	5回以上
総数	12,675	36.3	22.2	6.3	3.8	1.8	2.3	61.2	78.5	88.9	93.8	100.0
当初回収期間短縮型	4,025	23.7	14.9	4.4	2.4	1.3	0.7	62.7	81.3	91.3	96.9	100.0
地域特性												
調査困難地域	1,744	15.7	8.8	2.6	1.9	1.3	1.0	56.0	72.9	85.3	93.4	100.0
オートロックマンション	781	17.3	8.2	3.6	2.4	1.5	1.5	47.4	68.1	82.2	91.1	100.0
単身者の多い地域	963	14.3	9.2	1.9	1.6	1.0	0.6	64.5	77.5	88.4	95.7	100.0
一般地域	2,226	29.2	19.0	5.8	2.6	1.4	0.4	65.1	85.1	93.9	98.6	100.0
一戸建の多い地域	1,366	37.8	25.3	7.8	3.1	1.2	0.5	66.9	87.4	95.5	98.6	100.0
その他の共同住宅の地域	860	15.7	9.2	2.8	1.7	1.7	0.2	58.5	76.3	87.4	98.5	100.0
学生寮など施設等の世帯を含む地域	55	54.5	38.2	3.6	7.3	0.0	5.5	70.0	76.7	90.0	90.0	100.0
周知												
郵送回収を強調	1,444	15.4	11.4	2.6	1.2	0.2	0.1	73.5	90.1	98.2	99.6	100.0
調査員回収を強調	1	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
強調しなかった	2,265	31.1	18.7	5.9	3.2	2.0	1.3	60.1	79.1	89.5	95.9	100.0
複数の回収方法を強調	315	8.3	3.2	2.2	1.3	1.6	0.0	38.5	65.4	80.8	100.0	100.0
当初回収期間従来型	8,650	42.2	25.6	7.1	4.4	2.0	3.0	60.8	77.8	88.3	93.0	100.0
地域特性												
調査困難地域	2,853	30.5	17.7	4.8	2.6	1.4	4.0	58.0	73.7	82.1	86.8	100.0
オートロックマンション	1,383	25.7	14.7	6.1	2.4	1.2	1.2	57.2	81.1	90.4	95.2	100.0
単身者の多い地域	1,470	35.0	20.5	3.5	2.7	1.6	6.7	58.6	68.5	76.3	81.0	100.0
一般地域	5,497	46.7	28.4	8.4	5.2	2.2	2.5	60.8	78.9	90.0	94.7	100.0
一戸建の多い地域	3,396	56.7	35.7	10.7	6.0	2.5	1.8	63.0	81.9	92.5	96.9	100.0
その他の共同住宅の地域	2,101	30.5	16.5	4.8	3.9	1.7	3.6	54.2	69.8	82.7	88.1	100.0
学生寮など施設等の世帯を含む地域	300	70.7	51.0	6.3	8.0	3.3	2.0	72.2	81.1	92.5	97.2	100.0
周知												
郵送回収を強調	956	29.6	25.6	2.4	0.9	0.1	0.5	86.6	94.7	97.9	98.2	100.0
調査員回収を強調	835	67.9	37.7	13.8	7.8	4.3	4.3	55.6	75.8	87.3	93.7	100.0
強調しなかった	6,859	40.8	24.2	7.0	4.5	2.0	3.1	59.3	76.4	87.5	92.3	100.0
複数の回収方法を強調	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(4) 当初回収期間従来型における面接、回収状況

当初回収期間従来型の回収期間を訪問回数A(当初回収期間短縮型と同じ回収期間)と訪問回数B(当初回収期間短縮型より延長している期間)の二つに分けて分析を行った。

当初回収期間従来型の調査票を回収できた割合(42.2%:表3-3)について、回収期間を分けてみると、訪問回収期間Aに調査票を回収できた世帯の割合は38.2%、訪問回収期間Bに調査票を回収できた世帯の割合は4.0%となっており、大半が訪問回収期間Aに調査票を回収できている。

これを地域特性別にみると、「学生寮など施設等の世帯を含む地域」(31.0%)が最も高くなっている。

また調査票提出の周知方法別にみると、「郵送回収を強調」(8.7%)が最も高くなっている。

表3-4 当初回収期間従来型における面接、回収状況

	総数	うち面接できた割合 (%)	訪問期間Aのみ		訪問期間Bのみ		訪問期間A、B共に		(別掲) 訪問回収期間Bに回収できた割合 (%)
			うち面接できた割合 (%)	うち回収できた割合 (%)	うち面接できた割合 (%)	うち回収できた割合 (%)	うち面接できた割合 (%)	うち回収できた割合 (%)	
総数	8,650	78.9	69.1	38.2	8.0	3.5	1.8	0.5	4.0
地域特性									
調査困難地域	2,853	66.5	56.8	27.5	8.2	2.9	1.5	0.1	3.0
オートロックマンション	1,383	74.7	66.6	23.6	7.4	2.0	0.7	0.1	2.0
単身者の多い地域	1,470	58.8	47.6	31.2	8.8	3.8	2.4	0.1	3.9
一般地域	5,497	84.7	76.4	43.6	6.3	2.4	1.9	0.7	3.1
一戸建の多い地域	3,396	93.1	85.1	52.9	6.0	2.7	2.0	1.0	3.8
その他の共同住宅の地域	2,101	71.1	62.4	28.5	6.9	1.8	1.8	0.2	2.0
学生寮など施設等の世帯を含む地域	300	91.0	53.0	39.7	36.3	29.3	1.7	1.7	31.0
周知									
郵送回収を強調	956	77.1	49.9	20.9	25.0	8.3	2.2	0.4	8.7
調査員回収を強調	835	93.8	90.9	66.6	1.9	1.1	1.0	0.2	1.3
強調しなかった	6,859	77.4	69.2	37.1	6.4	3.1	1.8	0.6	3.7
複数の回収方法を強調	0	-	-	-	-	-	-	-	-

注) 訪問期間A…6月12日(金)～18日(木)

訪問期間B…6月19日(金)～22日(月)

(5) 時間帯別訪問回数

世帯への訪問時間帯別の訪問回数をみると、夜の訪問の割合が高くなっている。

これを当初回収期間別にみると、土・日曜日を2回含む当初回収期間従来型のほうが土・日曜日に訪問した割合が47.7%と高くなっている。

表3-5 調査員の時間帯別訪問状況

		総数			平日			土・日曜日					
		訪問回数	訪問時間帯別割合 (%)			訪問回数	訪問時間帯別割合 (%)			訪問回数	訪問時間帯別割合 (%)		
			朝	昼	夜		朝	昼	夜		朝	昼	夜
総数		31,837	25.6	34.2	40.2	55.3	12.6	18.1	24.6	44.7	13.0	16.1	15.6
当初回収期間	総数	9,804	23.7	36.0	40.3	61.9	13.7	20.1	28.1	38.1	10.0	15.9	12.2
地域特性	調査困難地域	5,084	22.2	30.1	47.7	59.0	12.4	16.5	30.1	41.0	9.9	13.6	17.5
	オートロックマンション	2,268	27.6	30.4	42.1	59.6	15.7	19.0	24.9	40.4	11.8	11.4	17.2
	単身者の多い地域	2,816	18.0	29.9	52.2	58.6	9.6	14.6	34.4	41.4	8.3	15.3	17.8
	一般地域	4,547	25.8	42.7	31.5	64.9	15.6	23.9	25.3	35.1	10.2	18.8	6.2
	一戸建の多い地域	2,244	39.3	39.2	21.4	65.0	23.8	24.7	16.4	35.0	15.5	14.5	5.0
	その他の共同住宅の地域	2,303	12.6	46.1	41.3	64.7	7.6	23.1	34.0	35.3	5.0	23.0	7.3
	学生寮など施設等の世帯を含む地域	173	11.0	32.9	56.1	68.8	3.5	24.3	41.0	31.2	7.5	8.7	15.0
当初回収期間従来型	総数	22,033	26.4	33.4	40.2	52.3	12.1	17.2	23.1	47.7	14.3	16.2	17.1
地域特性	調査困難地域	9,227	23.9	32.9	43.2	53.5	11.7	17.0	24.8	46.5	12.2	15.8	18.4
	オートロックマンション	3,264	18.6	40.7	40.6	56.8	10.2	21.3	25.3	43.2	8.5	19.4	15.3
	単身者の多い地域	5,963	26.8	28.6	44.6	51.7	12.6	14.7	24.5	48.3	14.3	13.9	20.1
	一般地域	12,279	28.8	34.7	36.5	50.5	12.7	17.4	20.4	49.5	16.2	17.2	16.1
	一戸建の多い地域	6,327	32.1	40.2	27.7	54.3	16.1	22.4	15.9	45.7	16.0	17.9	11.8
	その他の共同住宅の地域	5,952	25.3	28.7	45.9	46.5	9.0	12.2	25.2	53.5	16.3	16.5	20.7
	学生寮など施設等の世帯を含む地域	527	14.0	13.5	72.5	74.4	7.4	12.5	54.5	25.6	6.6	0.9	18.0

注) 朝：午後0時まで 昼：午後0時～午後6時まで 夜：午後6時以降

5 当初回収に関して世帯からの質問・意見の状況

当初回収について、世帯から質問があった調査区の割合は33.1%となっている。

これを地域特性別にみると、「一戸建の多い地域」(44.4%)、また、調査票提出の周知方法別にみると、「調査員回収を強調」(46.2%)の割合が最も高くなっている。

また、質問のあった世帯数は「1～5世帯」(28.0%)の割合が最も多かった。

表4 当初回収に関して質問の有無

	調査区数	構成比 (%)						
		質問なし	質問あり 注)	1～5世帯			不詳	
				6～10世帯	11世帯以上			
総数	510	60.2	33.1	28.0	0.8	0.2	6.7	
地域特性	調査困難地域	206	62.1	29.6	26.7	0.0	0.0	8.3
	オートロックマンション	102	61.8	27.5	23.5	0.0	0.0	10.8
	単身者の多い地域	104	62.5	31.7	29.8	0.0	0.0	5.8
	一般地域	255	56.1	38.8	31.4	1.6	0.4	5.1
	一戸建の多い地域	153	51.0	44.4	34.6	2.6	0.7	4.6
	その他の共同住宅の地域	102	63.7	30.4	26.5	0.0	0.0	5.9
	学生寮など施設等の世帯を含む地域	49	73.5	18.4	16.3	0.0	0.0	8.2
周知	郵送回収を強調	143	66.4	23.8	22.4	0.0	0.0	9.8
	調査員回収を強調	26	53.8	46.2	34.6	0.0	0.0	0.0
	強調しなかった	332	58.4	36.7	30.4	1.2	0.3	4.8
	複数の回収方法を強調	9	44.4	11.1	11.1	0.0	0.0	44.4

注) 質問があった世帯数「不詳・無回答」を含む。

【主な質問】

- ・ 調査票は必ず提出しなければならないのか。
- ・ なぜ一部の地域だけで調査を行っているのか。
- ・ 調査票の記入内容の確認を行ってほしい。
- ・ 試験調査の目的はなにか。
- ・ 郵送提出を希望しているのに、なぜ当初回収期間に訪問するのか。

6 当初回収期間における調査票の回収について

【主な意見】

- ・ 不在又は居留守の世帯が多く、対応に苦慮した。
- ・ 調査票配布時に、提出方法や再訪問日時を確認したほうが調査を円滑に行うことができる。
- ・ 提出方法を確認すると、郵送提出（又はオンライン回答）を希望する世帯がほとんどであった。
- ・ 郵送提出の申し出があった世帯から提出されない事例があった。
- ・ 調査票配布時に郵送提出の申し出があった世帯には、当初回収期間に訪問しなくてもよいのではないのか。郵送提出の期限前に訪問すると、戸惑う世帯があった。
- ・ 調査票の提出を忘れていた世帯もあったので、当初回収期間に世帯を訪問することは、効果があった。

7 調査票未提出世帯を特定する方法について

【主な意見】

- ・ 調査票未提出世帯の特定は、分かりやすくよかった。
- ・ 郵送提出世帯の情報の伝達の回数を増やしてほしい。
- ・ 当初回収時及びフォローアップ回収時に行き違いの事例があった。当初回収期間中にも郵送提出世帯の情報を伝達し、伝達後に届いた郵送提出世帯の情報も可能な限り教えてほしい。
- ・ 『調査票の提出はお済みですか』（確認状）の配布前に、郵送提出世帯を特定したほうがよい。
- ・ 本調査を考慮すると、市町村の事務が大変ではないのか。FAX、メール等で連絡するなど、円滑な伝達方法を検討する必要がある。

8 フォローアップ回収期間における調査票の回収について

【主な意見】

- ・ フォローアップ対象世帯は、調査票配布時及び当初回収時に面接できない世帯が多く、回収が困難である。『調査票提出のお願い』（督促状）の配布のみでよいのではないか。
- ・ まだ調査票を記入していなくて、再訪問を約束する事例もあり、3日間の期間では短い。
- ・ 面接できても、郵送提出を希望する世帯がほとんどであった。
- ・ マンションでの聞き取り調査は困難である。ただし、管理人が協力的な場合は、円滑に行うことができた。
- ・ 調査票の提出を忘れていた世帯、その場で記入してくれる世帯、連絡メモを見て連絡してくれる世帯、すぐに提出しますと申し出のある世帯などがあり、フォローアップ回収に効果があると感じた。

第2 指導員記録表

1 指導員の基本属性について

指導員は51人で、男女別にみると男性が14人（27.5%）、女性が37人（72.5%）となっている。

また、年齢階級別にみると、40歳代及び60歳代が最も多く14人（27.5%）、次いで50歳代が10人（19.6%）となっている。

表1 指導員の基本属性

		実数	構成比 (%)
総数		51	100.0
性別	男	14	27.5
	女	37	72.5
年齢階級	20歳代	1	2.0
	30歳代	6	11.8
	40歳代	14	27.5
	50歳代	10	19.6
	60歳代	14	27.5
	70歳以上	6	11.8

2 担当地域の施設・団体への協力依頼状況

市区から指示された施設・団体への協力依頼で、困ったことがあったと答えた指導員は5人（9.8%）となっている。

【主な内容】

- ・ 共同住宅へのポスターの掲示依頼の際に、管理人は常駐しておらず連絡を取るのに時間がかかった。協力依頼には十分な期間が必要である。
- ・ 管理会社で居住状況の有無すら情報提供が得られないケースがあった。
- ・ 民間の共同住宅において、対応に少し温度差を感じた。

3 調査員への指導・支援状況

(1) 調査員からの質問・相談件数

調査の進捗状況や調査方法などについての調査員からの質問や相談の件数は、調査票の配布期間中、当初回収期間中、フォローアップ回収期間中ともにそれぞれ0件と答えた指導員が最も多く、指導員一人当たりの調査員からの質問・相談件数は、それぞれ1.0件、0.9件、0.8件となっている。

表2 調査員からの質問・相談件数

	指導員数				総件数	指導員一人当たりの質問・相談件数
	0件	1～5件	6～10件	10～15件		
調査票の配布期間中	34	15	2	—	53件	1.0件
当初回収期間中	40	9	1	1	47件	0.9件
フォローアップ回収期間中	38	11	2	—	43件	0.8件

【主な内容】

(調査票の配布期間中)

- ・ 不在世帯への対応方法
- ・ 非協力的な世帯への対応方法
- ・ 調査書類の不足
- ・ 世帯のとらえ方などの調査対象、定義

(当初回収期間中)

- ・ 不在世帯への対応方法
- ・ 非協力的な世帯への対応方法
- ・ 郵送提出（又はオンライン回答）すると申し出があった世帯への『調査票の提出はお済みですか』（確認状）の配布の有無について

(フォローアップ回収期間中)

- ・ 不在で聞き取り調査も困難な世帯への対応方法
- ・ 非協力的な世帯への対応方法
- ・ 既に郵送提出（又はオンライン回答）したと申し出があったが、提出の確認ができない世帯への対応方法
- ・ 郵送で提出したいと申し出があった世帯への対応方法

(2) 調査活動中の指導・支援の内容

【主な内容】

- ・ 調査員への同行及び代行調査
- ・ 調査の進め方のアドバイス
- ・ 『世帯名簿』及び『調査区要図』の記入方法についてのアドバイス

4 調査書類の受付について

『調査書類整理用封筒』及び『調査票郵送提出用封筒』の開封に要した時間は、「3時間～5時間未満」の指導員が15人で最も多く、平均では2.4時間となっており、1調査区当たりでは、14.5分となっている。

また、開封の際に「調査区番号」及び「世帯番号」の記入状況を確認しながら開封を行ったので、時間を要したという意見もあった。

表3 『調査書類整理用封筒』及び『調査票郵送提出用封筒』の開封に要した時間

所要時間	1時間未満	1時間～ 2時間未満	3時間～ 5時間未満	5時間～ 10時間未満	10時間以上	平均	1調査区当たりの所要時間
指導員数	12	12	15	5	1	2.4時間	14.5分

5 調査票未提出世帯の特定や調査員への伝達方法について

【主な意見・提案】

- ・ 『郵送世帯等情報リスト』での伝達は分かりやすかった。
- ・ 本調査では調査員の『世帯名簿』の記入不備の事例が見込まれることから、指導員による支援が必要である。
- ・ 『郵送世帯等情報リスト』について市区から連絡を受けた後、調査員への連絡を行うためにややタイムラグが生じてしまう。
- ・ 調査員にもよるが、FAX・メール等を活用した一斉伝達の方法を導入することを検討してはどうか。

6 調査書類の検査について

(1) 『調査区要図』と『世帯名簿』の照合

『調査区要図』と『世帯名簿』を照合した結果、不一致があったと回答した指導員は12人（23.5%）となっている。

不一致のあった調査区数ごとの不一致件数をみると、不一致のあった調査区数は1～3調査区となっている。また、不一致のあった調査区について、1調査区当たりの不一致件数はせいぜい1件である。

表4-1 『調査区要図』と『世帯名簿』の照合状況

	総数	不一致なし	不一致あり	不一致のあった調査区数			不詳
				1調査区	2調査区	3調査区	
				指導員数	51	32	
構成比 (%)	100.0	62.7	23.5	9.8	7.8	5.9	13.7

表4-2 不一致のあった調査区数ごとの不一致件数

	指導員数	不一致件数			
		1件	2件	3～5件	6～10件
総数	12	4	4	2	2
不一致調査区数	1調査区	4	1	-	-
	2調査区	4	-	3	1
	3調査区	3	-	-	2

- (2) 『世帯名簿』に調査票の「世帯員数」(総数)を転記するのに要した時間
『世帯名簿』に調査票の「世帯員数」(総数)を転記するのに要した時間は、「1時間～2時間未満」の指導員が16人で最も多く、平均では2.3時間となっており、1単位区当たりでは、8.0分となっている。

表4-3 『世帯名簿』に調査票の「世帯員数」(総数)を転記するのに要した時間

所要時間	1時間未満	1時間～2時間未満	3時間～5時間未満	5時間～10時間未満	10時間以上	平均	1単位区当たりの所要時間
指導員数	10	16	13	2	1	2.3時間	8.0分

7 調査書類・用品についての意見・提案

【指導員事務の手引】

- ・ もう少し簡潔にして、分かりやすくしてほしい。
- ・ 文章が多く、読みづらかった。
- ・ 質疑解答の例題が多く、分かりやすかった。

【調査の手引】

- ・ 要点を分かりやすく記述したほうがよかった。
- ・ 調査員が調査票の記入内容の確認を行わないなら、各調査事項の趣旨、選択肢の説明と調査結果の利用例は必要ないのではないのか。
- ・ 各調査事項の趣旨、選択肢の説明と調査結果の利用例は世帯への説明にも大いに役に立つのでよかった。
- ・ カラー刷りとイラスト等で読みやすくよかった。

【郵送提出世帯等情報リスト】

- ・ 『郵送提出世帯等情報リスト』を作成するのに時間がかかるので、事務を簡素化してほしい。
- ・ 便利で確認しやすかった。
- ・ 調査区(単位区)内に同一の姓の世帯があると確認しづらかった。

【その他】

- ・ 調査票の文字が小さい。
- ・ 調査票の「記入は黒の鉛筆で」の文章を目立たせてほしい。
- ・ 調査票の7欄「5年前にはどこに住んでいましたか」は、記入の必要ない世帯も記入しているので、きちんと誘導したほうがよい。
- ・ 世帯配布用の鉛筆を用意してほしい。
- ・ 『下敷き』の留める部分の強度を強くしてほしい。
- ・ 『下敷き』に世帯との応接の例を記載してほしい。
- ・ 『調査書類入れ』（手さげ袋）は縦長がよい。
- ・ 『調査書類入れ』（手さげ袋）の取っ手が外れやすいので、強度を強くしてほしい。
- ・ 『国勢調査従事者腕章』は、一目で調査員ということが分かるのでよかった。

8 平成22年国勢調査の実施に向けての意見・提案

【調査について】

- ・ オートロックマンション及び単身者が多い共同住宅は、一戸建が多い地域に比べて、負担が大きい。調査員報酬に、差異を設けたほうがよい。
- ・ マンションの管理人を調査員に任命すれば、調査を円滑に行うことができる。
- ・ 聞き取り調査を行うことは、現実的に難しい。

【調査票の提出について】

- ・ 世帯との面接が困難になっているので、郵送提出の導入は有効である。
- ・ 地域によっては、調査員回収を強調して周知したほうがよい。
- ・ 調査員回収を強調して周知して、できるだけ調査票配布時に再訪問する日時を約束して、当初回収期間は訪問したほうがよい。郵送提出の場合、なかなか当初回収期間に提出されない。
- ・ 郵送提出を強調して周知するのは避けるべき。フォローアップ回収時に調査員が訪問した際に、郵送提出済みとの返答があっても、提出が確認できない事例があった。

【調査票の検査について】

- ・ 全封入方式・郵送提出であると、調査票の未記入が多く、電話番号の記入がない場合、電話照会もできない。
- ・ 調査員による検査がなくなっているため、ボールペンで記入された調査票の転記なども指導員で行わなければならない。検査に相当期間が必要になる。
- ・ 産業大分類の格付が行える程度に記入されているかの検査は、もう少し詳細な資料が必要である。

- ・ 調査票の検査におけるチェックポイントの習熟について、指導員説明会で十分な説明・指示が必要である。

【その他】

- ・ 学生や、マンション等共同住宅の世帯に対する調査は、郵送提出やオンライン回答などの手段を用意しても困難であった。
- ・ 調査員による『世帯名簿』、『調査区要図』及び調査書類の調査員記入欄の記入誤りが多かった。調査員に十分な指導が必要である。
- ・ 平成22年に国勢調査が行われることを早くから広報する必要がある。
- ・ 国勢調査は義務であることをもっと積極的に広報する必要がある。

第3 調査状況等記録表

1 調査票の郵送提出件数について

世帯から郵送提出された調査票の受け付け状況を日別に見ると、最も多いのが6月15日（月）の2,153件（郵送提出件数に占める割合17.4%）となっており、次いで22日（月）の1,487件（同12.0%、17日（水）の1,260件（同10.2%）などとなっている。

また、当初回収期間別の郵送件数に占める割合をみると、調査員回収期間及び『調査票の提出はお済みですか』（確認状）の配布時期の差異による影響はないという結果であった。

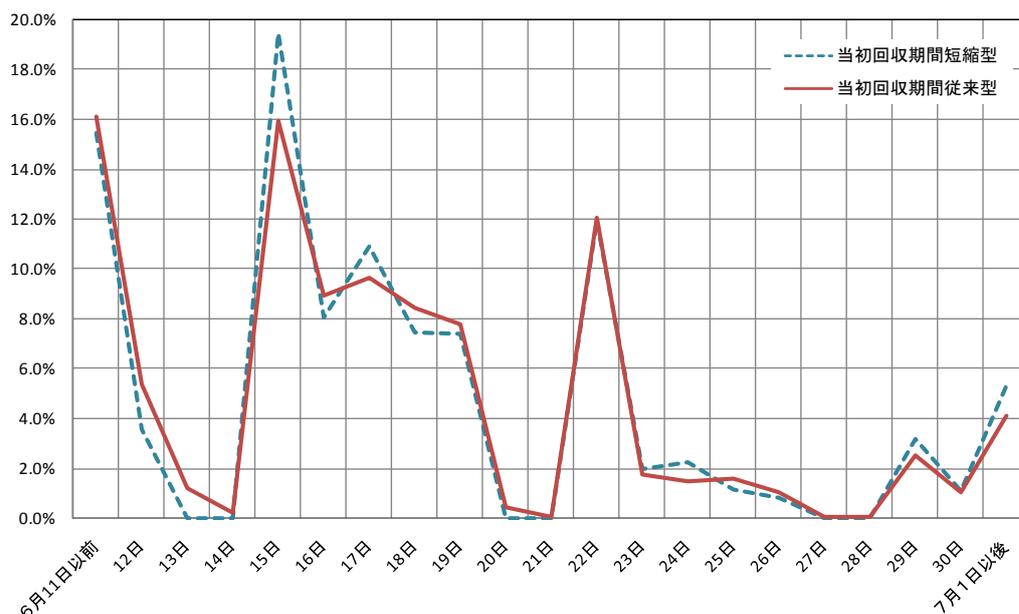
表1 日別の調査票郵送提出件数

		総数	6月11日以前	12日	13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日	21日	22日
				金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月
総数	実数	12,388	1,964	576	90	18	2,153	1,063	1,260	996	947	32	6	1,487
	構成比	-	15.9%	4.6%	0.7%	0.1%	17.4%	8.6%	10.2%	8.0%	7.6%	0.3%	0.0%	12.0%
当初回収期間短縮型	実数	4,975	768	176	0	0	968	401	543	371	369	0	0	594
	構成比	-	15.4%	3.5%	0.0%	0.0%	19.5%	8.1%	10.9%	7.5%	7.4%	0.0%	0.0%	11.9%
当初回収期間従来型	実数	7,413	1,196	400	90	18	1,185	662	717	625	578	32	6	893
	構成比	-	16.1%	5.4%	1.2%	0.2%	16.0%	8.9%	9.7%	8.4%	7.8%	0.4%	0.1%	12.0%
調査事務日程（当初回収期間短縮型）			調査票配布	世帯からの郵送提出、調査員による回収期間								確認状配布		
調査事務日程（当初回収期間従来型）			調査票配布	世帯からの郵送提出								確認状配布		
				調査員による回収期間										

		23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日	30日	7月1日以後
		火	水	木	金	土	日	月	火	
総数	実数	228	221	172	118	4	6	346	130	571
	構成比	1.8%	1.8%	1.4%	1.0%	0.0%	0.0%	2.8%	1.0%	4.6%
当初回収期間短縮型	実数	98	113	56	42	0	0	157	54	265
	構成比	2.0%	2.3%	1.1%	0.8%	0.0%	0.0%	3.2%	1.1%	5.3%
当初回収期間従来型	実数	130	108	116	76	4	6	189	76	306
	構成比	1.8%	1.5%	1.6%	1.0%	0.1%	0.1%	2.5%	1.0%	4.1%
調査事務日程（共通）		調査票未提出世帯の特定			フォローアップ回収					

※ 『調査状況等記録表』は、第3次試験調査の事務の記録として手作業で取りまとめたものであることなどから、調査票集計結果の郵送提出の割合と一致しない。

表1 日別の調査票郵送提出件数の割合（当初回収期間短縮型及び当初回収期間従来型）



2 『調査票郵送提出用封筒』について

(1) 『調査票郵送提出用封筒』の調査区番号（主番号）順への並び替え

『調査票郵送提出用封筒』の「調査区番号」順への並び替えに要した延べ時間は、「1時間以上～2時間未満」が19市区（37.3%）と最も高く、次いで「1時間未満」（15市区、29.4%）、「2時間以上～3時間未満」（6市区、11.8%）などとなっており、51市区の平均は1.6時間となっている。

表2 『調査票郵送提出用封筒』の並び替えに要した時間

	所要時間						平均
	1時間未満	1時間以上～2時間未満	2時間以上～3時間未満	3時間以上～5時間未満	5時間以上	不詳	
市区数	15	19	6	5	3	3	1.6時間
割合 (%)	29.4	37.3	11.8	9.8	5.9	5.9	—

(2) 『調査票郵送提出用封筒』の差出人、調査員記入欄の記入状況

『調査票郵送提出用封筒』の差出人、調査員記入欄の記入状況を見ると、郵送提出件数12,388件のうち、「差出人氏名」の記入漏れが419件（郵送提出件数に占める記入漏れの割合3.4%）、「差出人住所」が432件（同3.5%）、「調査区番号」が162件（同1.3%）、「世帯番号」が263件（同2.1%）などとなっている。

表3 『調査票郵送提出用封筒』の差出人、調査員記入欄の記入漏れの状況

	郵送提出件数	世帯記入欄		調査員記入欄	
		差出人氏名	差出人住所	調査区番号	世帯番号
件数	12,388	419	432	162	263
割合 (%)	100.0	3.4	3.5	1.3	2.1

(3) 『調査票郵送提出用封筒』の「調査員使用欄」についての意見

【主な意見】

- ・ 記入する項目を増やすよりも、調査員記入欄の記入を徹底させることが大事である。
- ・ 調査員の氏名を記入させた。
- ・ 封筒に予め調査員番号を記入しておくことによって、「差出人住所」、「調査区番号」、「世帯番号」等の記入漏れがあっても、調査区の特定ができるようにしておいた。
- ・ 調査員記入欄に記入するのに時間がかかってしまうため、封筒の端に色をつけ、担当調査員を特定できるようにした。
- ・ 調査員記入欄が記入漏れだった場合を想定し、予め調査員証発給番号を記入しておいたが、全調査員が記入していたので、結果的には不要であった。
- ・ 調査員番号を事前に記入しておき、調査員に配布した。「調査区番号」及び「世帯番号」を記入し忘れていた調査員は、8名中2名と特定されていたので、担当調査員を特定するのに有効であった。ただし、本調査では調査員数が多いため、本人に記入させるしかないが、「調査区番号」及び「世帯番号」を記入し忘れる調査員が、「調査員使用欄」に記入してくれるのか疑問が残る。
- ・ 「市区町村コード」に調査員番号を組み合わせた一連の数字を記入した。

(4) 『調査票郵送提出用封筒』の「調査区番号」順への並び替えについての意見・提案

【主な意見】

- ・ 本調査では郵送提出が多くなり、「調査区番号」の並び替えの作業が増加し、多くの人員が必要となるため、賃金等の人件費の増額をお願いしたい。
- ・ 『郵送提出等世帯情報リスト』の作成及び調査票整理用の人員を新たに雇用する必要があるため、そのための人件費を補填してほしい。
- ・ 並び替えには保管場所を兼ねてかなり広いスペースを要し、庁舎内で施錠できる部屋の長期間確保が課題となる。物品棚のリースが必要であり、受付保管の外部委託の検討、物品リース料・仕分人員確保のための予算確保を願いたい。
- ・ 『調査票郵送提出用封筒』の仕分け、開封及び提出世帯の特定を外部に委託するような方法はとれないのか。
- ・ 合併前の旧市町村ごとに、郵送先を分割することで、並び替えを行う調査票の数を分割してはどうか。
- ・ 『調査票郵送提出用封筒』の色分けや「調査員使用欄」を活用するなどし、並び替えを容易にする工夫が必要だと思われる。
- ・ 『郵送提出世帯等情報リスト』の作成に当たり必要な作業であり、今回の試験調査における提出枚数であれば事務負担はなかった。

- ・ 「調査区番号」の記入漏れがあった場合には調査区、「世帯番号」を特定するには相当な時間を要すると思われる。
- ・ 本調査では、大分類（50 調査区ごと）で、おおまかに仕分けし、中分類（各調査区ごと）で調査区ごとに分類し、小分類で「世帯番号」、単位区順に並びかえるような手順が良いと思う。各分類はかご等で分類し、紛失・混入を防止する必要がある。
- ・ 「差出人氏名」が世帯の代表者ではなく、記入・投函した人のものがあった。高齢者世帯の場合、別に住んでいる家族が代筆する場合もあり、「差出人氏名」や「差出人住所」が代筆者だった場合は特定が難しい。
- ・ 調査員は、鉛筆で記入していたが、鉛筆で記入した「調査区番号」及び「世帯番号」を世帯が消してしまうケースがあった。
- ・ 『調査票郵送提出用封筒』を色の違ったものを何種類か用意するなどして、まず市内でも地域別又は「調査区番号」順に単純に大きく分けることができるようにすれば、少しは軽減されるのではないか。
- ・ 『調査票郵送提出用封筒』が到着しだい開封し、調査票を取り出し、『調査票郵送提出用封筒』の上に重ねた上で、「調査区番号（単位区がある場合には単位区番号）」及び「世帯番号」の確認・補記を行った上で並び替え、『調査書類収納ファイル』等に収納しておいた方が、郵送提出世帯の状況把握、問い合わせ対応、『郵送提出世帯等情報リスト』への転記、調査員回収分の調査票の差し込みなどの各段階で便宜が図られ、より効率的ではないか。
- ・ 郵便局において、「調査区番号」や「世帯番号」の順番に整理した上で市区に届くような体制整備について検討してもらいたい。
- ・ 「調査員使用欄」等を活用することで、『調査票郵送提出用封筒』を配布した調査員が把握できていると比較的確認が容易になるため、『インターネット回答の利用案内』のように、封筒に整理番号を印字していただきたい。
- ・ 「調査員使用欄」に数字を記入するような使い方をすると、『調査員記入欄』が数字ばかりになって、今回の封筒のレイアウトでは、『郵送提出世帯等情報リスト』への転記間違いを起こしやすい。
- ・ 調査区内に複数の単位区がある場合には、単位区ごとに『郵送提出世帯等情報リスト』を作成するため、単位区番号ごとに並び替える必要があり、非常に手間がかかる。
- ・ 郵送提出の件数が増えると郵送提出した、していないのトラブルが多発する可能性がある。

3 『郵送提出世帯等情報リスト』について

(1) 転記に要した時間

当初回収期間終了後、郵送提出、市区持参分及びインターネット回答世帯の情報を『郵送提出世帯等情報リスト』に転記することとしたが、「2時間未満」と「2時間以上～3時間未満」がそれぞれ15市区(29.4%)で最も高くなっており、次いで「5時間以上」(8市区、15.7%)、「3時間以上～4時間未満」(7市区、13.7%)、「4時間以上～5時間未満」(6市区、11.8%)となっており、51市区の平均時間は3.2時間であった。

表4 『郵送提出世帯等情報リスト』への転記に要した時間

所要時間	2時間未満	2時間以上 ～3時間未満	3時間以上 ～4時間未満	4時間以上 ～5時間未満	5時間以上	平均	1単位区当たりの所要時間
市区数	15	15	7	6	8	3.2時間	10.9分
割合(%)	29.4	29.4	13.7	11.8	15.7	-	-

(2) 調査票提出世帯を調査員に伝達するための方法

調査票提出世帯について、フォローアップ回収期間前に調査員に伝達することとしたが、伝達方法のうち最も多かったのは、「郵送による伝達」で25市区、次いで「来所してもらい個別に伝達」が22市区、「電話で伝達」が13市区、「FAXで伝達」が3市区となっており、複数の方法で伝達した市区もあった。

なお、『調査票の提出はお済みですか』(確認状)配布前に電話で伝達した市区が2市区あり、フォローアップ回収中に郵送提出があった世帯について電話で伝達した市区が13市区あった。

表5 調査票提出世帯の伝達方法(複数回答)

	郵送による伝達	来所してもらい 個別に伝達	電話で伝達	FAXで伝達
『調査票の提出はお済みですか』 (確認状)の配布前	0	0	2	0
フォローアップ回収前	25	22	13	3
伝達後に郵送提出があった場合、その都度	0	0	13	0

【主な意見】

- ・ 『調査票の提出はお済みですか』(確認状)の配布を最小限とするために、配布前に電話で調査票提出世帯を伝達した。
- ・ 郵送(簡易書留)にて伝達した。
- ・ 電話で伝達した。
- ・ 調査員に市役所に来所してもらい、個別に伝達した。
- ・ 指導員が調査員から調査書類を回収し、調査票未提出世帯を特定した上で、後日、調査員に渡した。
- ・ 調査員から個別に問い合わせがあった際に伝達した。

- ・ F A Xで伝達した。
- ・ フォローアップ回収事務説明会を開催し、『郵送提出世帯等情報リスト』を手交した上で、その場で未提出世帯の特定作業を行った。
- ・ 調査書類提出の際に、作成した『郵送提出世帯等情報リスト』を手交した。
- ・ 当初回収期間分を伝達した後に到着したものに関しては、随時、電話で連絡した。

(3) 『郵送提出世帯等情報リスト』と『世帯名簿』の提出状況等が不一致だったため、調査員による調査票未提出世帯の特定が行えなかった事例

【主な意見】

- ・ ワンルームアパートにおける世帯番号の重複。
- ・ 『世帯名簿』の「世帯番号」を全単位区の一連番号で記入してしまい、『調査票郵送提出用封筒』に「調査区番号」及び「世帯番号」を記載しない調査員がいたため、『郵送提出世帯等情報リスト』の作成ができない状況となった。
- ・ インターネットで回答した世帯が、「調査区番号」及び「世帯番号」を間違えて入力しており、調査票には名前を入力しているが、調査対象地域が表札をあげていない世帯が多いため、『世帯名簿』との照合が行えず、特定が困難であった。

(4) 調査票提出世帯についての調査員への伝達方法や、調査員による調査票未提出世帯の特定を指示することについての意見・提案

【主な意見】

◀『郵送提出世帯等情報リスト』の作成について▶

- ・ 『世帯名簿』への「◎」記入は書きづらい。
- ・ 『調査票郵送提出用封筒』から『郵送提出世帯等情報リスト』、『郵送提出世帯等情報リスト』から『世帯名簿』と、転記作業が2回あり、転記ミスが生じる可能性が高い。『郵送提出世帯等情報リスト』に「◎」を付けた件数を記入する欄を設ける等、転記ミスを防ぐ何らかの工夫が必要ではないか。
- ・ 『郵送提出世帯等情報リスト』から『世帯名簿』への転記に当たり、容易性及び正確性を確保するためには、『郵送提出世帯等情報リスト』と『世帯名簿』は、表題を除いてほぼ同じ様式に揃える必要がある。
- ・ 『郵送提出世帯等情報リスト』の情報を「調査区番号」と「世帯番号」に絞りこめば、より安全に郵送やリストそのものを渡すことができると思う。同定ミスの可能性は残るが、説明会の際に『調査票郵送提出用封筒』への「世帯番号」の記載を徹底することで対処できると思う。
- ・ 郵送、提示（提出時に転記させる）、問い合わせ電話への対応、のタイミングごとに、リストに記入する色を変えていた。それによって、伝達済みの分を把握していた。

《調査票提出世帯の伝達のタイミングについて》

- ・ 調査員からは、情報提供の頻度を増やすことや、なるべく最新の状況を知りたいという意見が多いことから、『郵送提出世帯等情報リスト』の送付に代えて、電話による伝達や、調査員の方から出向いてもらう方法も検討したい。
- ・ 調査票配布後から郵送提出があり、調査票回収の負担軽減のため、4回にわたり『郵送提出世帯等情報リスト』を送付した。
- ・ フォローアップ回収の直前に『郵送提出世帯等情報リスト』を調査員に郵送したが、調査員が『調査票の提出はお済みですか』（確認状）を配布する前にも『郵送提出世帯等情報リスト』を伝達しておいたほうが、調査員が『調査票の提出はお済みですか』（確認状）を配布する負担が減るのではないかと懸念される。
- ・ 本調査では、指導員を経由しての伝達方法が見込まれるが、期日を定め、調査員から『調査区要図』及び『世帯名簿』を指導員に提出させ、調査票提出世帯の伝達や調査票未提出世帯の特定等を指示させる方法で行うことを提案する。
- ・ 『郵送提出世帯等情報リスト』作成後に郵送提出された調査票を伝達するのは困難である。
- ・ 調査員からは、市に届いた都度連絡してほしいとの要望があったが、現実的には無理である。
- ・ 本調査では、相当な数の調査員になるため、フォローアップ調査前に再度説明会を開催して全調査員に集合してもらうのは不可能である。
- ・ 調査途中でリストの写しを渡すより、その都度電話連絡するほうが効率的である。ただし、本調査の時は、1日に届く封筒の数も相当数になると思われ、調査員への連絡も容易でないと懸念される。

《調査票提出世帯の伝達方法について》

- ・ 全員に『郵送提出世帯等情報リスト』のコピーを渡す、電話やメール等を使用するなどの方法は、個人情報を取り扱う上では好ましくない。
- ・ メールやFAXでの伝達方法も検討したが、誤送信の可能性や家族等の統計調査員以外の者の目に触れる可能性があるため、特段の要望のない限り電話のみの伝達とした。
- ・ 電話で調査票提出世帯を伝達し、世帯名簿に「◎」印を付けさせたが、記載間違いがあり、調査世帯から何度もフォローアップ訪問されることに苦情の電話があった。
- ・ 調査員への伝達方法は、郵送による方法では、確実に郵送情報が調査員に伝達されないのではないかと懸念される。
- ・ 理想的な方法は直接手渡しすることだが、本調査を想定すると、現実的な方法は、郵送による伝達だと思う。

- ・ 『郵送提出世帯等情報リスト』を用いて調査員に伝達することは、調査員の負担軽減にもつながり非常に有効であったと思う。
- ・ インターネット回答では、世帯が「調査区番号」及び「世帯番号」の入力を誤るおそれがあり、調査票の記入内容を確認しても提出した世帯を特定するのは、非常に困難である。

4 『要計表作成システム』について

(1) 『要計表作成システム』全般についての意見

【主な意見】

- ・ 予算の削減及び機器の調達事務の軽減のため、複数のOSやAccessのバージョンに対応できるようにするなど、レンタルをせずに各都道府県・市区町村が通常使用しているパソコンで対応できるようにするべきである。
- ・ 実際に『要計表作成システム』を使用する時間に対して、動作環境を満たすコンピュータの調達に要する労力をはるかに多く、また、パソコンレンタル期間終了後においては修正事務に対応できない。
- ・ Access2007を用意できない市町村もあると見込まれる。Access2003でも対応できるようにしてほしい。
- ・ 経費と業務の軽減を図るために、今後、「政府統計共同利用システム」を活用できるようなシステムの開発を検討願いたい。
- ・ 入力に当たり、エラーチェック機能があることで、入力誤りを事前に防ぐことができた。
- ・ 操作自体は説明書にしたがって問題なく行えた。
- ・ データを読み込むだけで要計表が作成できたので、非常に簡単という印象だった。
- ・ 入力項目の順番を『世帯名簿』の項目順と同様にしていきたい。
- ・ 提出媒体はCD-RWではなく、フラッシュメモリにした方が手間がかからない。
- ・ 市区町村から提出された要計表を修正する際、政令指定都市及び都道府県においても簡単に修正出来るようにしてもらいたい。

(2) 『要計表作成システム説明書』についての意見

【主な意見】

- ・ 説明書がかなり厚いので、『市区町村要計表』、『政令指定都市要計表』、『都道府県要計表』にそれぞれ分けて説明書を作れば使用目的に対応した利用ができる。
- ・ 説明書にデータの流れ等概要図が掲載されていたが、本県は調査実施市区→政令指定都市→県の3段階であり、わかりにくかった。
- ・ 説明書の順番通りにパソコン操作をすれば、処理が可能となるよう、説明

書の掲載を工夫して欲しい。

- ・ 記載内容が作業手順通りに記載されており、わかりやすい内容であった。
- ・ 提出用のCD-RWを作成するに当たり、当初入っていた「調査区データ」を消去する必要があったが消去についての説明がなく困った。
- ・ PCはレンタルが前提であるため、都道府県の審査の段階で誤りが見つかったとしても市区町村が既にPCを返却している場合、市区町村に修正させることはできない。都道府県が『市区町村要計表』を修正する場合の修正方法について、詳しく記載していただきたかった。

5 試験調査における調査方法等に対する意見・提案

【主な意見】

(1) 世帯への調査票提出の周知方法について

- ・ 提出方法は世帯が選択できることとしたほうがよいと思うが、今回の試験調査では、郵送提出を希望する世帯がどの調査区でも多く、特にアパート・マンションの世帯のほとんどは郵送提出を希望する世帯が多かった。
- ・ 郵送提出を強調周知した場合でも、後日、確認のため再訪問することを世帯に伝えておけば、当初回収の際、訪問しやすいという意見が調査員からあった。
- ・ 調査票配布時に調査員回収又は郵送提出のいずれかを希望するかの確認をしないことになっていたが、その後の回収業務を考えると、面接が可能であった世帯についてはいずれかを希望するか明確にしてもよいと考える。
- ・ 調査票の提出は基本的に調査員が回収というスタンスが望ましい。調査員が足を運んで回収するほうが確実であり、また郵送受付後の事務量の削減になる。
- ・ 『調査書類整理用封筒』の「郵送で提出」を調査員に事前にマーカーで○囲みさせ、配布時に調査員による回収を希望した場合は「調査員に提出」に修正して配布した。
- ・ マンションについては、掲示板やエレベーターの壁面に「お知らせ」を掲示してもらうことにより、効果があった。
- ・ オートロックマンションについては、マンション管理会社から管理組合を通じて各世帯へ周知を図ることにより、調査活動がより円滑に進められるのではないかと考える。また、マンション管理会社に対しての総務省からの調査協力依頼文の作成してもらいたい。
- ・ 高齢等の理由により調査票の記載が困難な場合で代筆を希望する方は、調査員が代筆する旨を『調査票の記入のしかた』などの調査書類に記載してはどうか。
- ・ 調査員が世帯訪問時に提出方法についての説明をしやすくなり、世帯にとっても希望する提出方法についてあらかじめ考える時間が持てるため、事前配

布する『調査についてのお知らせ』（世帯リーフレット）には、提出方法や封入提出について明記してもらいたい。

- ・ フォローアップ回収時にはインターネットによる回答ができないため、『調査書類整理用封筒』のインターネットに関する部分をマジックで消して配布せざるを得なかった。フォローアップ回収用の封筒を作成してもらいたい。
- ・ テレビメディアを含め、できる限りの広告媒体を使った周知方法が必要。「調査していることを知らなかった」と言われるよりも、「周知がくどい」と言われるほうがいい。

(2) 調査員事務について

【主な意見】

- ・ 調査書類を配布する際に、「世帯番号」等を記入することになっているが、玄関先でこれらの業務を行うことは困難なため、自宅での準備事務としてももらいたい。
- ・ 『世帯名簿』の作成時において、世帯人員を聞かずに世帯主の名字は確認することになっているが、プライバシーを配慮するなら世帯主の名字を聞かないようにすべきである。
- ・ 単純な数字の記入とはいえ、調査員の記入項目が増えるごとに、ミスが生じる可能性も高まるので、記入項目は必要最小限にしていきたい。
- ・ フォローアップ回収については、ほとんどの調査員が面会できず、かつ、聞き取り調査もできなかったことから、訪問のうえ不在の場合は、郵送提出依頼に切り替えるなど、区切りをつけて実施したほうが良いと思われる。
- ・ 調査員の事務は軽減されているが、面接困難な世帯が多くなっており、共同住宅を中心として調査票を配布するのにかなり労力を費やしていることから、一人2調査区を増やすことは極力避けるべきと思われる。
- ・ 今回の試験調査は、調査員による調査票の検査はなかったものの、調査票配布、当初回収、フォローアップ回収と、繰り返し世帯への訪問を求められ、調査員事務の負担は軽減されたとは言えないと考える。
- ・ 全封入提出、郵送提出導入等により調査員の負担が軽減されているため、調査員確保の観点から複数調査区を担当することも検討すればどうか。
- ・ 毎回調査においては、調査員の確保に頭を悩ませるところだが、今回、隣接する2調査区を担当した調査員からは、隣接していれば2調査区と感じないとのことであった。
- ・ オートロックマンションは部屋と入り口を各部屋毎に往復しなければならないため、オートロックマンションを担当する調査員の負担は相当大きいと思われる。
- ・ 全封入提出のため、世帯が知らない調査員であっても比較的協力的だったが、空き家や長期不在などの情報の把握が困難。

(3) 指導員事務について

【主な意見】

- ・ 全封入提出の導入により、封筒の開封や審査事務の負担が増加するため、調査票のボールペン記入を認めるなど、軽減策が必要と思われる。
- ・ マンション管理会社等への協力依頼を市で実施し、居住の有無について情報提供してもらうことで、調査員が調査を円滑に進めることができた。
- ・ 指導員がマンション管理会社に調査への協力依頼に行ってもほとんど協力してくれず、市からの公文書での依頼が必要となる。本調査においては、各種施設配布用の調査への協力依頼文書を総務省で作成していただきたい。
- ・ 『郵送提出世帯等情報リスト』の作成やその情報の伝達など、指導員事務が増えている。指導員一人当たりの担当する調査員数を減らす必要があると思う。
- ・ 郵送提出された調査票の受領と仕分け作業及び提出済み世帯の確認作業を委託により実施することができれば、市区町村、指導員ともに事務負担の軽減につながる。
- ・ 本調査では、職員を指導員として活用せざるを得ないが、平常業務外に指導員事務を行わせるには相当の負担を強いることになる。市区事務との役割分担も含め、指導員事務の負担軽減を望む。
- ・ 行政情報等による欠損値等の補記に市区職員が当たるので、インターネットによる回答を除く世帯照会については、指導員事務とされたい。
- ・ 世帯員数の転記は比較的スムーズに行えたが、調査票の検査については、記入不備が目立ち、補記が難しく、最終的には数字の書直しが主な業務となった。
- ・ 『調査票郵送提出用封筒』の並び替え事務などについて、指導員、市区町村の臨時職員、派遣会社員（民間委託）など、身分の縛りを極力無くして欲しい。
- ・ 調査票の全封入提出の導入により、指導員による調査票の検査等の事務量が増えるため、指導員の増員を検討する必要がある。
- ・ 調査員が一旦市に提出したものを、市が指導員に書類を交付するという方法であったため、調査員とのコミュニケーションが取りにくいように感じた。指導員の役割をもう少し増やして欲しいのと同時に、担当する調査員や調査区については減らす方向で検討できないか。

(4) 市区事務について

【主な意見】

- ・ 総務省統計局においても、不動産会社や管理会社等のマンション関連団体への広報や協力依頼をお願いしたい。
- ・ 指導員だけでなく、市区からもマンション等共同住宅の管理人への協力依

頼をすることが重要だと感じた。管理人の理解が得られた共同住宅は円滑に調査が行われていた。

- ・ 郵送提出及び全封入提出の導入により、指導員や市区の事務が増えることから、本調査では調査書類の延長等を含めたスケジュール及び指導員や賃金による職員の増員を検討していただきたい。
- ・ 統計担当職員も最低限の人員で調査を運営するため、省力化できる部分は業務委託を実施すべきである。
- ・ 住民基本台帳の閲覧について、「国籍」欄の閲覧が不可能であったり、市によって制約がある。
- ・ 聞き取り調査世帯の調査票を住民基本台帳で補完する際、「世帯名簿」の記入は名字のみのため、住民基本台帳と突合しても補完できない調査票がほとんどであった。
- ・ できるだけスムーズに住民基本台帳所管課と連携がとれるよう、総務省から該当部署あてに文書等を送付してほしい。定額給付金の交付事務に際しては正式な文書があったとのことであり、それにより住民基本台帳の閲覧ができる端末機の設置が可能になった。
- ・ 郵送回収状況の把握と調査員への伝達が大きな課題と再認識した。当初回収期間後に受付期間を設ける、『郵送提出世帯等情報リスト』を作成せず電話連絡を行う、各調査員に市の出先機関まで出向いて情報を伝達するなどの手法を検討したい。
- ・ 指導員への負荷が大きく、検査できない調査区が多くなれば、すべて市区町村が検査をすることになる。
- ・ インターネットによる回答は、記載漏れ等がなく、職員の審査事務の軽減が見込まれる。本調査においても、インターネットで回答ができるようしていただきたい。
- ・ インターネットによる回答は、当初回収期間を回答期限とするのではなく、もう少し遅くした方が効果的ではないか。
- ・ 来年の国勢調査においては、普段統計調査事務に携わっていない職員も調査員への説明を行うことになるため、当該職員の習熟期間も踏まえ、調査関係書類・用品等の配布は余裕を持って行って欲しい。

(5) 当初回収期間の事務について

【主な意見】

- ・ 調査票配布時に調査票の提出方法を確認するようし、郵送提出及びオンライン提出を希望した世帯には、当初回収時における訪問をしなくてよいものとしてはどうか。調査員と世帯の面接回数を減らすことで、調査員と世帯の双方の負担軽減になる。
- ・ 郵送提出を希望した世帯に対しては、当初回収期間中に訪問する必要はな

いと思う。郵送提出済みの世帯について、調査員はこの時点では、情報を把握していないため、世帯から調査票が到着しているかと聞かれても回答できず、調査そのものに不信感を与えてしまうと思う。

- ・ 調査票配布開始から当初回収期間における調査票の提出期限までをもう少し短くし、フォローアップ回収期間を長めに設定して、郵送未提出世帯を集中的に訪問すれば、効率的ではないかとの意見が多かった。
- ・ 当初回収期間中に調査員が回収した件数は、全体の約 3 割だったが、当初回収期間中に調査員が再訪問した際の世帯の反応は、郵送提出するつもりでいたが、回収に来たならついでに持って行ってというものが多かった。
- ・ 調査員が直接回収しなかった世帯に『調査票の提出はお済みですか』（確認状）を配布することとなっているが、来年の国勢調査においては、「郵送した」と申し出た世帯については、調査員とのトラブル防止の観点から、『調査票の提出はお済みですか』（確認状）を配布しない取り扱いとすることも市町村の判断で可能としてもらいたい。
- ・ 郵送提出世帯の伝達については、世帯との行き違いを避けるため、最新の情報を電話で伝えると良い。
- ・ 調査員回収と郵送提出については世帯名簿の世帯番号に「○」、「◎」囲みを行うより、『世帯名簿』に新たな列を設けて記入したほうがわかりやすいと思う。
- ・ 当初回収期間終了後とフォローアップ回収期間終了後の 2 回に分けて調査票等を提出させる方法と、フォローアップ回収期間終了後にまとめて提出させる方法の二つがあったが、前者の方法をとれば、既に回収している調査票を確認することができるので、しっかりチェックすることができるかもしれないが、本調査では、調査員の数も多く、郵送提出される調査票の仕分け等もあるので、現実には対応が難しいのではないかと感じた。

(6) フォローアップ回収期間の事務について

【主な意見】

- ・ 単身者の多いアパートやマンションでは、当初回収期間中に調査員が何度訪問しても面接できないケースが多いため、フォローアップ回収が多くなる。『郵送提出世帯等情報リスト』の交付時期を早く行い、フォローアップ回収期間をもっと長く取ったほうが良いと思う。
- ・ 現実的には、フォローアップ回収のための訪問時に面会できた世帯には郵送提出をお願いし、不在世帯には郵便受けに再度調査票を投函するといった対応を行う程度しかできないと考える。
- ・ フォローアップ回収は、回収率を決める重要な作業であると思うが、実際の現場では調査員による直接回収は全く得られず、調査員が面接できた世帯からは「郵便で提出する」との返答しかなかった。

- ・ フォローアップ回収のために訪問した世帯から、郵送提出済み、あるいは〇日に郵送する予定などと言われた場合、世帯名簿に極力その旨記録するようになっていたが、最終的に世帯から調査票が提出されなかった事例があった。少なくとも、面接できれば、聞き取り調査の項目程度は聞き取るようにしたらどうか。
- ・ 調査員にできるだけ最新の郵送提出世帯の情報を渡すとなると、それなりの人員が必要であるが、それと同時に簡易に郵送提出世帯のデータを入力し、帳票を作成できる支援ソフトがあれば、事務の軽減ができるものと考えられる。国においては、そのようなソフトの提供をお願いしたい。
- ・ 面接できた世帯はほとんどなく、最終的には調査書類をポストインせざるを得なかったが、20世帯ほど提出があり、それなりに効果は期待できると思われる。
- ・ 聞き取り調査票の作成について、近隣住民からの聴き取りだけでなく、空き室情報の提供を不動産会社などに照会する等の具体的な例示を『調査の手引』に記載して、実施させるようにされたい。

6 調査書類・用品について

【調査票】

- ・ 文字が小さく、見にくい。
- ・ 一戸建については「坪」で計算するのがまだ一般的であるので、「(4)住宅の床面積の合計」の記入欄で、「坪」を復活させてほしい。
- ・ 調査票の裏側への記入を忘れるケースが多々見られたので、裏にも記入する必要があることを表側の下部だけでなく、上部にも書いてはどうか。
- ・ 「5年前にはどこに住んでましたか」の項目は、記載誤りが非常に多く、設計を見直すべき。特に、5年以上現在と同じ場所に住んでいるにも関わらず、「現在と同じ場所」にマークしてくる方がほとんどである。記入する人は注意書きを見ていない状況である。
- ・ 書き方が分からないと世帯の人に言われて教えると、「こんな簡単に書けるのか」と言われることがよくあった。調査票に記載が多すぎるためか、実際の手間よりも、数段大変との印象を与えていると思う。
- ・ ボールペンで記入された調査票が一定数提出されているので、『調査票の記入のしかた』の表面にも、鉛筆で記入することを大きく表示してほしい。

【世帯名簿】

- ・ 『世帯名簿』には、世帯が希望した提出方法を「備考」欄に書き込むのではなく、調査員がチェックを入れるだけでいいような欄を作ってもらいたい。
- ・ 『世帯名簿』に気軽に書き込みができる下書き用紙の希望があった。また、訪問日時を記録できるスペースがあるとよいとの意見もあった。

- ・ 「指導員使用欄」との表示はわかりにくい。「世帯員数」とはっきり記入してあったほうが調査員が余分に記入することはなくなると思う。
- ・ 世帯の男女別の人数が記載できる様な以前の様式に戻して欲しい。
- ・ 「指導員使用欄」にまで調査員が記入する場合も多く、色分けをするなどの工夫が必要である。

【調査区要図】

- ・ 『調査区要図』のプレプリントは絶対に必要である。前回までの国勢調査では、調査員が手書きで『調査区要図』を作成していたが、調査員より提出されたものは補正及び書き直しが必要なものが多く、補正及び書き直しに多大な労力を費やしていた。指導員及び市区の事務負担軽減を図るため、また、調査票の審査に多くの時間を割くためにも、『調査区要図』のプレプリントは絶対に必要であり、総務省統計局での全国一律の対応をお願いしたい。
- ・ 『調査区要図』のプレプリントは、試験調査では有効に使われたようだが、市街地以外ではかえってわかりにくいものになるおそれがあると思われる。

【調査の手引】

- ・ 他の調査でも同様であるが、様々な要素を記載していることからかなり分厚いものとなっており、調査員が業務内容を理解するのに苦勞しているものと思われるため、業務編と資料編の2冊構成にするなど、業務が簡単に理解できる冊子を作成し、必要に応じて資料編を見るようにしたほうが、調査員の理解がより深まるものと思われる。
- ・ 調査員回収の際、世帯から記入内容の確認を依頼されたら、受けてもよいと『調査の手引き』に掲載してはどうか。また、どうしても面会もできず聞き取り調査もできない世帯が出てくるため、その場合の対応、処理方法を『調査の手引き』に掲載していただきたい。

【調査についてのお知らせ】

- ・ 背景の色彩とグラフや文字の色が重なると非常に見づらい。
- ・ 世帯に調査員が訪問することを予めお知らせできるので、調査員の支援になる。

【調査票の記入のしかた】

- ・ フォローアップ回収の際に『調査票郵送提出用封筒』に折り曲げて入れることになるため、折り曲げやすいように予め折り目を入れて欲しい。
- ・ 事業・仕事の書き方の例を増やしていただきたい。一般の人は本人の仕事の内容をどのように書いてよいか分からず未記入になっている場合も多く、分からないからといって問合せをしてくる人はほとんどいない。分からなけ

ればそのまま書かないか事務職などと簡単に書いて提出するだけになってしまふ。本当は記入方式ではなくマークをつけるだけが理想。最低でも記入しづらい仕事の記入例を増やしてほしい。

【調査票の提出はお済みですか（確認状）】

- ・ 郵送提出している世帯についても配布するのであれば、このような文面や様式では調査員は配布したくないとのことだった。

【連絡メモ】

- ・ 単身のアパートの多い調査区は、不在世帯も多く、何度も行かなければならないので、大量に必要である。

【調査書類整理用封筒】

- ・ 「ご希望の方法で提出～」の提出方法の選択肢の記載順は、市町村の実情に沿ったものとしてほしい。郵送提出を強調する市町村の場合は、「郵送で提出」を大きく1番目に記載していただきたい。
- ・ 茶色ではなく、ピンクなどもっと目立つ色にしてほしい。調査員も「あの、ピンクの封筒に入っている・・・」と説明しやすい。
- ・ 調査書類整理封筒を調査員提出強調型と郵送提出強調型の2種類作成してほしい。
- ・ 入れられた「調査票」の文字が透けて見えないような材質としてほしい。
- ・ 『調査票郵送提出用封筒』と同じように差出人名や住所を記入する欄を設けてほしい。

【調査票郵送提出用封筒】

- ・ 「調査員使用欄」は、試験調査では調査区数が少ないので、あらかじめ市区で記入するなど活用できたが、本調査では前もって記入するのは作業期間が短期間であることを考えると非常に困難。
- ・ 黄色を使うなど、誰の目にも分かりやすい派手で目立つものにしていただきたい。目立つものとすることで、郵便従事者だけでなく、調査員や世帯にとっても分かりやすいものとなるのではないか。

【調査書類入れ（手さげ袋）】

- ・ 雨天時や調査種類への記入の際に不便との声が調査員・市町村から多く寄せられていることから、ショルダーバック方式へ変更してもらいたい。
- ・ 『調査書類入れ』（手さげ袋）とは別に、調査書類の一部を持って配布する際に便利なように、肩にかけることもできる袋も用意してほしい。
- ・ 調査に使用する用品が多く、市から調査員に配布する際に1調査区分だけ

でも入りきらない。

- ・ 両面に「国勢調査」の表示があるが、ひったくり等の目標になりやすいため、防犯のためにも片面だけの表示にしてもらいたい。片面だけであれば、世帯面接の際にはその面を見せ、移動中においては、無表示の面を外側にしておくことができる。

【調査書類収納ファイル】

- ・ 制作費は安くはないと思われるが、郵送世帯が多かったこともあり、あまり使われていなかった。
- ・ 使い勝手が悪いので、使用しなかった。半透明のビニール袋でよい。
- ・ 入れ物として使うのに必要な程度の「固さ」がないため、持ち運びしにくい。また背表紙に単位区番号を記入しても、蓋をすると記入した文字が見えにくくなるため、大量の調査票が集まる本調査では別途に方策を考えざるを得ない。

【個人情報保護マニュアル】

- ・ 見開き4ページ程度であるにもかかわらず別冊にする意味がなく、「調査の手引」に綴じ込んだ方が説明しやすく、理解もしてもらいやすい。

【指導員・調査員証】

- ・ 調査員の写真が必要であるが、本調査では写真の確保や貼付作業が課題となる。

【筆記用具】

- ・ 短くていいので鉛筆と、消しゴムセットを希望世帯に配布出来ないかとの意見があった。

【下敷き】

- ・ 紙がしっかりとまるようクリップを強くし、鉛筆を挟める機能をつけてほしい。
- ・ 調査の日程が記載されているカレンダーがあれば、世帯との回収日の約束にも使えるため便利ではないか。

【国勢調査従事者用腕章】

- ・ 『調査員証』と『調査書類入れ（手さげ袋）』を携行しているので、『国勢調査従事者腕章』は必要ないのではないか。
- ・ 蛍光反射材のものにすれば夜間の安全確保にも効果があると思われる。
- ・ ビニール製品のため蒸れやすく、シワになりやすい。また、安全ピンの使

用のため、服に穴を開けることとなる。マジックテープのようなもので貼付けることが可能で、かつ、蒸れにくいナイロン製品を要望する。

【みなさまへ（掲示用ポスター）】

- ・ 国の連絡先が記入されていないため、掲示を拒否された。本調査では、総務省の連絡先（コールセンター）及びアドレスなど、問い合わせ先を各書類に明確に記載して欲しい。

7 平成 22 年国勢調査の実施に向けての意見・提案

【主な意見】

（調査方法について）

- ・ 調査員の負担軽減は必要であるが、その負担を指導員又は市区の職員が被るのは不可能である。具体的には郵便物の並び替えや簡単な記入漏れ等の確認は、業務委託すべきである。
- ・ 配布時点で「郵送提出」を強調しておいて、後日、確認に行くことで、世帯には「なぜ来たのか」と言われた調査員が多かった。また、期限前に確認に行くため、世帯は不満があるようであった。「調査票の記入上で、問題はありますか」などの言い回しで、相手に問いかけるなど、確認へ入りやすいように指導が必要と考える。
- ・ 調査員事務において、自宅の事前準備の段階で、『調査区要図』と『世帯名簿』にあらかじめ番号をつけ、調査票にも番号をつけてから配布する方法をとらないと、調査活動中に持つ用品の物量からとても困難であり、誤配布や紛失のおそれがある。
- ・ 郵送提出で予想されるトラブルとして、世帯が郵送したと主張する調査票が市役所で到着したことの確認ができない場合の対処方法を示して欲しい。
- ・ 調査票未提出世帯の特定作業は予定どおり行うとしても、フォローアップ回収の趣旨を「調査票を提出していただけたかを改めて確認する」趣旨に変更するとともに、フォローアップ回収期間中に最低 1 回訪問しても不在の場合は、『調査票の提出はお済みですか』（確認状）と同様の趣旨の配布物を郵便受け等に配布することで、対応していただきたい。
- ・ フォローアップ回収対象の世帯は、オートロックマンションを中心とした、調査に対する非協力者、面接困難者である。このため、オートロックマンション対策について、重点的な広報等が必要である。また、今回の調査では、オートロックマンションの住民を調査員としたところ、回収率が非常に高くなっている。

（審査事務等について）

- ・ 産業大分類の地方格付が廃止されたが、一方で郵送提出調査票の回収状況

の把握・管理、住民基本台帳等の行政情報活用による調査票記入内容の補完など新たな事務が発生し、市町村の事務内容が大きく変わっている。臨時職員や調査票の並び替え場所の確保など、ある程度は予算措置で対応できるものの、郵送提出世帯の提出状況の調査員への連絡など、予算措置だけでは対応できない問題があると思われる。

- ・ 試験調査の結果、想定される記入誤りが多数判明したので、補記や修正の方法、あるいは修正しなくてもよい事例を明示するなど、審査要領を充実するなどして、審査事務の軽減、調査実施前後の市町村・指導員・調査員からの照会回答事務の軽減、調査精度の確保等につながるよう対応されたい。
- ・ 市町村では指導員を職員から選考している場合が多く、市町村における業務の増加や人員削減により、確保が困難となっているため、指導員の業務の一部を市町村業務とし、賃金職員での対応が可能となるようにされたい。
- ・ 調査書類の審査における世帯照会に関して、試験調査では、市担当者の事務としていたが、調査員段階の検査を経ていない状況では対応が困難な市町村もあると考えられるので、実情に応じて指導員による世帯照会もできるようにしてほしい。
- ・ 未回収世帯の調査票作成事務は、住民基本台帳未登録者が多いこと、外国人が把握できないこと、何よりも未提出者が多いことにより、市町村だけの対応はかなり困難。
- ・ 今回の調査では指導員は統計職員の立会いの下で調査票を検査するようになっていたが、本調査では指導員を他の市職員に依頼する予定なので、指導員の自宅においても検査できるようにお願いしたい。

(協力依頼について)

- ・ 自治会の推薦を受けたオートロックマンション居住者が調査員に任命され、その調査区の回収率は91.7%と高かったことから、本調査でもオートロックマンションの調査区では、居住者及び管理人等を調査員に任命しやすい体制の整備を図っていただきたい。
- ・ 大手マンション管理会社のオートロックマンションで、管理人に確認しようとしたところ、本部から「協力できない」と言われたケースがあった。マンション等は管理会社の協力度合いによって調査がスムーズに進むか否か決まってくるので、国からの働きかけをお願いしたい。
- ・ 国において国勢調査の実施に関する調査協力依頼を各関係機関・団体等に行っていますが、地方の関係機関・団体はもとより、共同住宅の不動産管理会社の現地職員(管理人)まで浸透するよう一層の協力依頼をお願いしたい。

(広報について)

- ・ 国勢調査への無関心や非協力が多く現状では、早期からの広報で周知を図

- り、国民の理解と協力を得る必要があるので、テレビ、ラジオや新聞各紙などへの情報提供や特集番組、特集記事なども効果があるのではないだろうか。
- ・ 調査票の提出方法を市町村において強調して世帯に周知することが可能とされているが、市町村により提出方法が異なることにより、提出方法の周知の広報を行った場合、近隣の市町村に対する影響を懸念しており、提出方法に関する広報のあり方についてご教示いただきたい。
 - ・ 全国的な広報が必要。特に国勢調査は義務であり、提出しなければ罰則規定があることもしっかり盛り込むべき。世帯にとってメリットがないと調査票を提出してくれない場合もある。世帯にとって、具体的に役立つことを広報してほしい。
 - ・ 国勢調査の周知については、テレビコマーシャル等で前年からでも予め早い段階で周知を行っていただきたい。また、放映時間については、比較的世帯が在宅している時間帯に合わせるなど、調整を図っていただきたい。周知については、「国勢調査が行われること」や「必要性と結果の利用について」、「郵便でも提出できます」や「調査票提出しましたか？」などと、その時期に合わせた構成でわかりやすい内容のものを周知いただきたい。

(行政情報等の利用について)

- ・ 未提出世帯で聞き取り調査もできないものについては、住民基本台帳での補記で対応したが、住民基本台帳担当部署に協力を求める際に、法的な裏づけに乏しく、協力を得るのに苦慮した。(一般統計であるためやむを得ないところもある) 住民基本台帳の統計調査への利用について、全国市区町村の住民基本台帳担当部署に対して、協力依頼をお願いしたい。
- ・ 欠損値の補完を行うための住民基本台帳の利用について、事務処理基準に明記するとのことであるが、欠損値補完には外国人登録の情報も不可欠であることを勘案して、市町村で円滑に利用できるよう住民基本台帳及び外国人登録について、明文の根拠を設けるとともに事務連絡等文書として発行していただきたい。

(その他)

- ・ 国勢調査は人口及び世帯を把握する基礎的な統計である。今回、フォローアップ回収の効果があがらなかったことを考えると来年の本調査で、正確な人口・世帯数を把握できるか疑問である。
- ・ 調査方法の大枠が固まったら、例えば説明会資料の検討や、書類の様式作成に関して意見・アイデアを持ち寄るなどの実務的な問題について、実務担当者を対象とした打合せ会を開催していただきたい。
- ・ 調査員の調査活動については、封入提出、郵送提出の実施等により、調査世帯とのトラブル等も少なく、安全な調査が行われたようであった。

- 職員が指導員を行う市区町村が多いと思うが、重複給与の問題があり勤務時間内の従事ができないので、制度の見直しも検討してほしい。
- 用品が不足し、調査事務に支障を来たすことが絶対に無いよう、用品毎に必要な数量を見極めて準備し、不足した場合には速やかに補充できるような体勢を整えて欲しい。